令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	アート事業推進		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化芸術の振興
根拠法令要綱	-		
事業期間	2013　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）

事業概要

事業概要
「岡崎アート＆ジャズ2012」、「あいちトリエンナーレ2013」、「あいちトリエンナーレ2016」を岡崎で開催したことを契機に、継続して市民がアートに触れることができるようにアート事業の推進を行う。また、「第2次岡崎市文化振興推進計画」重点プラン4に沿って、市民と芸術の距離を近くする「コミュニティアート」の取組みを推進させるため、オカザえもんを活用し、誰もが親しみやすいイベントを開催することで、文化芸術に触れる機会を充実させる。

対象
市民及び市外からの来訪者等

手段
「あいちトリエンナーレ」開催後も継続的に、市民等が楽しむことのできるアートイベントを実施する。また、オカザえもんを活用し、気軽に文化芸術に触れることができる機会を提供する。

意図・成果
普段からアートに興味を持っている人だけでなく、あまり関心のない人々に対してもアートを鑑賞する機会や体験する機会の創出を図る。また、文化芸術活動の活性化により地域の魅力の向上を図り、賑わいを創出する。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	新聞、テレビ等掲載数 単位：回	目標値（予測値）	9	6	-
		実績値	5	4	
		達成度（%）	56	67	
	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	

定性指標	2021年度達成基準	気軽に参加できるアートに関するイベントを開催し、文化芸術に触れる機会を充実させる。
	2021年度達成結果	ワークショップや展覧会を実施することができた。コロナによる業務縮小でワークショップが１つ中止になったが、制作動画を作り、自宅でもアートに取組めるよう形を変えて実施できた。
	2022年度達成基準	気軽に参加できるアートに関するイベントを開催し、文化芸術に触れる機会を充実させる。
	2022年度達成結果	ワークショップや展覧会を実施し、文化芸術に触れる機会を充実させることができた。
	2023年度達成基準	-
指標分析	メディアを通して周知したことにより、岡崎の文化芸術の理解と関心を高めることができた。	

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	1,821,468	1,378,410
	人員	1.1	0.7

担当所属	社会文化部文化振興課	連絡先	23-6975

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：維持管理型

業務活動名	シビックセンター管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化を支える基盤づくり
根拠法令要綱	地方自治法、岡崎市シビックセンター条例		
事業期間	-　～　-	運営形態	指定管理者

事業概要

事業概要
 シビックセンターは、コンサートホールやリハーサル室のほか、岡崎支所、南部市民センター、図書館、レストラン等を設置している複合施設である。 指定管理者制度を導入し、民間事業者のノウハウを活かした管理運営を行っている。コンサートホールでは、市民に一流の音楽芸術の鑑賞の場を提供するほか、地元音楽家の支援・育成等を行っている。交流広場では、地元と連携し、にぎわいの創出によるまちづくり支援を行っている。 なお、業務水準については、市による指定管理者のモニタリング及び第三者による業務履行状況の監視・検証等を行い、市民サービスに努めている。【施設概要：コンサートホール固定席421席（身障者席４席）、リハーサル室 ２室、集会室 １室、交流広場 800㎡、このほか、岡崎支所、南部市民センター、図書館、レストラン等】【根拠法令：岡崎市シビックセンター条例】

対象
市民・利用者

手段
 指定管理者による管理運営

意図・成果
音楽に気軽に触れられる場や発表等の活動の場を市民に提供し、芸術文化の振興を図っている。また、指定管理者による管理運営により、民間事業者のノウハウを活かした安全・安心・快適な施設環境の提供と公平・公正・親切なサービスを提供している。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	ホール利用率 単位：%	目標値（予測値）	75	75	75
		実績値	86	86	
		達成度（%）	115	114	
	シビックセンター利用者アンケートによる満足度 単位：%	目標値（予測値）	85	85	85
		実績値	92	93	
		達成度（%）	108	110	
定性指標	2021年度達成基準	接遇や安全管理など、職員レベルの向上を目的とした研修を、習熟度を上げるため繰り返し実施し、利用者のサービス向上、満足度の向上を図る。			
	2021年度達成結果	数多くの研修を実施し、職員のレベル向上を図ったことにより、スタッフに対する満足度、施設に対する満足度ともに高水準を維持した。			
	2022年度達成基準	接遇や安全管理など、職員レベルの向上を目的とした研修を、習熟度を上げるため繰り返し実施し、利用者のサービス向上、満足度の向上を図る。			
	2022年度達成結果	数多くの研修を実施し、職員のレベル向上を図ったことにより、スタッフに対する満足度、施設に対する満足度ともに高水準を維持した。			
	2023年度達成基準	接遇や安全管理など、職員レベルの向上を目的とした研修を、習熟度を上げるため繰り返し実施し、利用者のサービス向上、満足度の向上を図る。			
指標分析	ホールの利用率は、新型コロナウイルス感染症の影響等あったが目標の75%に対し、85.6%の実績となり目標を達成し、利用者満足度も高く（満足度93.1%）、施設の運営及びホール事業の企画を適切に行っている。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	274,030,132	289,142,967
	人員	0.55	0.66

担当所属	社会文化部文化振興課	連絡先	23-6977

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：維持管理型

業務活動名	せきれいホール管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化を支える基盤づくり
根拠法令要綱	地方自治法、岡崎市せきれいホール条例		
事業期間	-　～　-	運営形態	指定管理者

事業概要

事業概要
 せきれいホールは、ホール、集会室を有する施設で、市民の音楽、演劇など文化活動の拠点となっている。演劇や音楽などの利用が約５割を超え、多目的ホールと施設規模の特性を活かした、市民の文化活動発表の場を提供をしている。 指定管理者制度を導入し、民間事業者のノウハウを活かした管理運営を行っている。 市による指定管理者のモニタリングの他、有識者による外部モニタリングを行い、指定管理者の業務履行状況、市のモニタリング内容の検証・監視を第三者の視点で行っている。【施設概要：ホール 客席数503席（うち車いす席３席）、集会室　５室】【根拠法令：岡崎市せきれいホール条例】

対象
市民・利用者

手段
　指定管理者による管理運営

意図・成果
　市民に集会や音楽、演芸など文化活動の場を提供し、芸術文化の振興を図る。 また、指定管理者による管理運営により、民間事業者が持つノウハウを活かした安全・安心・快適な施設環境の提供及び公平・公正・親切なサービスを提供している。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	ホール利用率 単位：%	目標値（予測値）	62	55	58
		実績値	49	59	
		達成度（%）	79	107	
	せきれいホール年間利用者数 単位：人	目標値（予測値）	72,000	39,000	53,000
		実績値	37,699	53,350	
		達成度（%）	52	137	
定性指標	2021年度達成基準	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図る。			
	2021年度達成結果	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図ることができた。			
	2022年度達成基準	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図る。			
	2022年度達成結果	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図ることができた。			
	2023年度達成基準	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図る。			
指標分析	新型コロナウイルス感染症の影響等もあったがホール利用率、年間利用者数ともに目標を達成することができており、昨年度の実績も上回る結果となっている。施設の利用者拡大に向けて努力を行っている。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	55,910,246	58,776,672
	人員	0.4	0.21

担当所属	社会文化部文化振興課	連絡先	23-6977

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	デジタルアートナイトフェスティバル開催		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化芸術の振興
根拠法令要綱	-		
事業期間	2022　～　2022	運営形態	自治事務（一部委託）

事業概要

事業概要
冬の夜間のアートイベントとして、岡崎城天守閣や大手門などの公共空間に、プロジェクションマッピングをはじめとしたデジアルアートの投影等を行い、岡崎の歴史や文化を魅力的に発信する。
（文化庁の文化資源活用推進事業に採択。国の補助金を活用して実施。）

対象
市民及び市外からの来訪者等

手段
デジタルアート（本市の文化資産を利用したプロジェクションマッピング、 双方向型のインタラクティブコンテンツ、 デジタルペイントによる「ぬり絵」等） を活用し、世界ラリー選手権が開催される11月、武将サミットや家康公生誕祭がある１２月、大河ドラマ「どうする家康」の放映がスタートし、ドラマ館がオープンする来年１月に合わせ、幅広い層に本市の歴史文化の魅力を訴求する。

意図・成果
岡崎の歴史や文化を魅力的に発信し、幅広い層の方たちにご参加いただき、あわせて本市の歴史文化やデジタルアートに興味を持っていただき、また、夜間のまちなかに、にぎわいを創出し、ナイトタイムエコノミーを推進する。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	記録動画再生回数 単位：回	目標値（予測値）		10,000	-
		実績値		98,756	
		達成度（%）	-	988	
	観覧者数 単位：人	目標値（予測値）		19,000	-
		実績値		50,641	
		達成度（%）	-	267	
定性指標	2021年度達成基準				
	2021年度達成結果				
	2022年度達成基準				
	2022年度達成結果				
	2023年度達成基準				
指標分析	世界ラリー選手権「Rally Japan」、NHK大河ドラマ「どうする家康」の放送など、岡崎が社会的に大きな注目が集まる機会を活かして大型のアートイベントを行うことで、延べ50,641人が会場に訪れる事業を開催することができた。記録動画視聴回数も98,756回に上った。これらにより、市内外に向けて岡崎市の歴史文化の魅力を広く発信することができた。合わせて、地域に大きな経済効果をもたらすことができた。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	0	118,272,000
	人員	0	0.55

担当所属	社会文化部文化振興課	連絡先	23-6975

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：維持管理型

業務活動名	岡崎城管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化を支える基盤づくり
根拠法令要綱	地方自治法、都市公園法、岡崎市都市公園条例		
事業期間	1959　～　-	運営形態	指定管理者

事業概要

事業概要
岡崎城は、岡崎公園内に立地する本市の観光拠点の中心であり、旧城内で誕生した徳川家康を核に本市の歴史文化を知るきっかけとなる施設であり、市内外へＰＲし、文化都市のイメージを高めている。指定管理者制度を導入し、民間事業者のノウハウを活かした管理運営を行っている。業務水準については、市による指定管理者のモニタリング及び第三者による業務履行状況の監視・検証等を行い、市民サービスに努めている。【施設概要：展示室、展望台】【根拠法令：岡崎市都市公園条例】

対象
市民、市外の観光客等

手段
・岡崎城の歴史及び江戸時代の岡崎を中心に、本市の歴史文化を展示紹介する。・指定管理者による管理運営

意図・成果
・岡崎の象徴である岡崎城とその歴史を周知することで、岡崎の歴史文化に対する市民・観光客の理解と関心を高める。・指定管理者による管理運営により、民間事業者のノウハウを活かした、安全・安心・快適な施設環境の提供と公平・公正・親切なサービスを提供する。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	岡崎城年間入場者数 単位：人	目標値（予測値）	192,000	114,100	192,000
		実績値	142,496	185,105	
		達成度（%）	74	162	
	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準	利用者の要望に合わせ、岡崎城で利用者参加型イベントを実施する。			
	2021年度達成結果	利用者の要望に合わせた参加型イベントとして、清海堀を探索するツアーの開催や浮世絵摺り、歴史クイズなどを実施した。			
	2022年度達成基準	利用者の要望に合わせ、岡崎城で利用者参加型イベントを実施する。			
	2022年度達成結果	利用者の要望に合わせた参加型イベントとして、清海堀を探索するツアーの開催や浮世絵摺り、岡崎城漫画パネルの設置などを実施した。			
	2023年度達成基準	利用者の要望に合わせ、岡崎城で利用者参加型イベントを実施する。			
指標分析	岡崎城への入場者数は施設の利用を表す直接的かつ明確な数値であり、令和５年１月にリニューアルオープンしたこと及び大河ドラマの影響により入場者数目標を上回った。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	19,551,657	241,016,267
	人員	0.45	0.91

担当所属	社会文化部文化振興課	連絡先	23-6977

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：維持管理型

業務活動名	家康館管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化を支える基盤づくり
根拠法令要綱	地方自治法、都市公園法、岡崎市都市公園条例		
事業期間	1982　～　-	運営形態	指定管理者

事業概要

事業概要
　三河武士のやかた家康館は、岡崎公園に立地し、岡崎城と共に本市の文化的資源を活かした観光拠点の中心となっている。岡崎城内にて誕生した郷土の英傑・徳川家康と、三河武士たちを輩出した歴史的風土と文化を内外にＰＲし、文化都市のイメージを高めている。 指定管理者制度を導入し、民間事業者のノウハウを活かした管理運営を行っている。 業務水準については、市による指定管理者のモニタリング及び第三者による業務履行状況の監視・検証等を行い、市民サービスに努めている。【施設概要：展示室、体験コーナー、収蔵庫】【根拠法令：岡崎市都市公園条例】

対象
市民、市外の観光客等

手段
・徳川家康や三河武士を輩出した歴史風土、人物像及び歴史資料を展示紹介する。・指定管理者による指定管理

意図・成果
・徳川家康と三河武士をはじめとした文化的資源を活かし、市民・観光客に対し情報を発信することで、本市の歴史文化に対する理解と関心を高める。・指定管理者による管理運営により、民間事業者のノウハウを活かした安全・安心・快適な施設環境の提供と公平・公正・親切なサービスを提供する。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	家康館年間入場者数（全体） 単位：人	目標値（予測値）	11,000	79,000	3,000
		実績値	60,924	39,476	
		達成度（%）	554	50	
	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準	岡崎の歴史文化に関連し、また、来館者のニーズを捉えた展示を企画し、企画展と連携して展示をより理解し、楽しめるイベントを開催し、入場者の増加を図る。			
	2021年度達成結果	企画展「浮世絵の中の岡崎展」での外部講師を招いた講演会、「秘蔵の逸品！地元愛刀家の日本刀展」において展示協力者による説明会や、刀や十手の実物資料に触れて鑑賞できる催事を開催した。			
	2022年度達成基準	岡崎の歴史文化に関連し、また、来館者のニーズを捉えた展示を企画し、企画展と連携して展示をより理解し、楽しめるイベントを開催し、入場者の増加を図る。			
	2022年度達成結果	企画展「伝説の神獣 龍」での学芸員による企画展講座、「美術館できもだめし？ちょっとコワイ美術展in岡崎」において企画協力者による解説や、オリジナル怪談の上演、近隣博物館等とのコラボ等の催事を開催した。			
	2023年度達成基準	岡崎の歴史文化に関連し、また、来館者のニーズを捉えた展示を企画し、企画展と連携して展示をより理解し、楽しめるイベントを開催し、入場者の増加を図る。			
指標分析	入場者数は施設利用を表す直接的かつ明確な数値であるが、令和５年１月から大河ドラマ館として営業しているため休館となっていること及びドラマ館への改装工事休館が約４か月間あったことにより、入場者数目標を下回った。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	53,060,035	161,607,642
	人員	0.55	0.46

担当所属	社会文化部文化振興課	連絡先	23-6977

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：維持管理型

業務活動名	甲山閣管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化を支える基盤づくり
根拠法令要綱	地方自治法、岡崎市甲山閣条例		
事業期間	-　～　-	運営形態	指定管理者

事業概要

事業概要
　甲山閣は、和室７部屋を有する文化施設で、茶会、邦楽、俳句・短歌等のお稽古事など、市民の和の文化活動の拠点となっている。 指定管理者制度を導入し、民間事業者のノウハウを活かした管理運営を行っている。 市による指定管理者のモニタリングの他、有識者による外部モニタリングを行い、指定管理者の業務履行状況、市のモニタリング内容の検証・監視を第三者の視点で行っている。【施設概要：和室　７室】【根拠法令：岡崎市甲山閣条例】

対象
市民・利用者

手段
　指定管理者による管理運営

意図・成果
　市民に茶会、邦楽、着付け教室などの和の催しから、ストレッチ教室、ベビーマッサージ教室などの講座まで幅広く文化活動の場を提供し、芸術文化の振興を図る。　また、指定管理者による管理運営により、民間事業者が持つノウハウを活かした安全・安心・快適な施設環境の提供及び公平・公正・親切なサービスを提供している。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	稼働率 単位：%	目標値（予測値）	24	18	17
		実績値	13	17	
		達成度（%）	54	94	
	甲山閣年間利用者数 単位：人	目標値（予測値）	10,200	4,000	6,000
		実績値	3,770	6,623	
		達成度（%）	37	166	
定性指標	2021年度達成基準	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図る。			
	2021年度達成結果	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図ることができた。			
	2022年度達成基準	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図る。			
	2022年度達成結果	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図ることができた。			
	2023年度達成基準	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図る。			
指標分析	新型コロナウイルス感染症の影響等もあったがホール利用率、年間利用者数ともに目標を達成することができており、昨年度の実績も上回る結果となっている。施設の利用者拡大に向けて努力を行っている。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	6,952,182	8,012,131
	人員	0.2	0.21

担当所属	社会文化部文化振興課	連絡先	23-6977

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：維持管理型

業務活動名	市民会館管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化を支える基盤づくり
根拠法令要綱	地方自治法、岡崎市市民会館条例		
事業期間	-　～　-	運営形態	指定管理者

事業概要

事業概要
 市民会館は、ホール、会議室、リハーサル室等を有する文化施設で、市民の発表会、音楽、演劇など文化活動の拠点となっている。 指定管理者制度を導入し、民間事業者のノウハウを活かした管理運営を行っている。 市による指定管理者のモニタリングの他、有識者による外部モニタリングを行い、指定管理者の業務履行状況、市のモニタリング内容の検証・監視を第三者の視点で行っている。【施設概要：ホール 固定席1,100席（うち車いす席８席）、会議室　６室、リハーサル室　５室、甲山会館 定員300人（移動観覧席105席）】【根拠法令：岡崎市市民会館条例】

対象
市民・利用者

手段
　指定管理者による管理運営

意図・成果
　市民に音楽発表会、演劇鑑賞会、各種集会等、劇場を利用した活動の場を提供し、芸術文化に接する機会を増やすことで、芸術文化の振興を図る。 また、指定管理者による管理運営により、民間事業者が持つノウハウを活かした安全・安心・快適な施設環境の提供及び公平・公正・親切なサービスを提供している。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	ホール利用率 単位：%	目標値（予測値）	67	62	59
		実績値	53	60	
		達成度（%）	79	97	
	市民会館年間利用者数 単位：人	目標値（予測値）	230,000	123,000	152,000
		実績値	121,592	156,683	
		達成度（%）	53	127	
定性指標	2021年度達成基準	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図る。			
	2021年度達成結果	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図ることができた。			
	2022年度達成基準	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図る。			
	2022年度達成結果	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図ることができた。			
	2023年度達成基準	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図る。			
指標分析	新型コロナウイルス感染症の影響等もあったがホール利用率、年間利用者数ともに目標を達成することができており、昨年度の実績も上回る結果となっている。施設の利用者拡大に向けて努力を行っている。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	160,863,315	599,510,265
	人員	0.55	0.41

担当所属	社会文化部文化振興課	連絡先	23-6977

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	美術展（岡展・市民展）開催		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化芸術の振興
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）

事業概要

事業概要
創作活動を行う市民の育成・支援を図るため、「岡崎市民美術展（市民展）」と「岡崎美術展（岡展）」を開催する。市民展は、出品作品に選外を設けないため、初級者にとって応募しやすい公募展であり、原則市民を対象に作品を募集する。一方、岡展は、審査により展示作品を選定する水準の高い公募展であり、市民だけでなく市外からの出品も対象とし、市民に高い技術・芸術性をもつ作品を制作する契機と鑑賞する機会を提供している。令和4年度市民展は第50回、岡展は第75回を数える伝統ある公募展である。

対象
芸術文化創造の担い手となる市民

手段
①岡崎市民美術展の開催　会期　令和4年５月21日～５月29日　部門　日本画、洋画、彫刻・工芸、書道、写真、デザインの６部門　②岡崎美術展の開催　会期　令和4年10月21日～10月30日　部門　日本画、洋画、彫刻、工芸、書道、写真、デザインの７部門

意図・成果
主に市民に日ごろの芸術文化活動を表現する場を提供することにより、芸術文化創造の担い手となる人材の育成・支援を図る。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	岡展への応募点数 単位：点	目標値（予測値）	365	365	365
		実績値	364	357	
		達成度（%）	100	98	
	市民展への応募点数 単位：点	目標値（予測値）	220	200	-
		実績値	198	174	
		達成度（%）	90	87	
定性指標	2021年度達成基準	応募点数確保のため、開催要項・ポスター・市広報・ホームページにより広く市民に周知・啓発する。			
	2021年度達成結果	開催要項・ポスター・市広報・ホームページにより啓発した。			
	2022年度達成基準	開催要項・ポスター・市広報・ホームページにより広く市民に周知・啓発する。			
	2022年度達成結果	開催要項・ポスター・市広報・ホームページにより啓発した。			
	2023年度達成基準	開催要項・ポスター・市広報・ホームページにより広く市民に周知・啓発する。			
指標分析	岡展については例年並みの実績かつ目標値と同程度の数値となった。市民展については目標値200点に対し、実績値174点と下回り、前年度実績値と比較しても下回る結果となった。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	2,411,600	2,477,184
	人員	0.65	0.62

担当所属	社会文化部文化振興課	連絡先	23-6977

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	文化活動支援		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化芸術の振興
根拠法令要綱	岡崎市文化活動事業費補助金交付要綱等		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（補助等）

事業概要

事業概要
根拠法令：岡崎市文化活動事業費補助金交付要綱市内で芸術文化活動事業を行う団体の組織的活動に対して助成する。

対象
文化活動事業費補助 市内で組織的に芸術文化活動を行う団体(岡崎文化協会・岡崎美術協会)

手段
補助金を交付する。市は文化活動事業費の交付団体である岡崎文化協会及び岡崎美術協会の事務局を担当しており、補助金を活動費の一部として、岡崎文化協会では「文協芸能祭」や「文協文化祭」などの事業を、また岡崎美術協会では「美協展」などの事業を実施し、市民の文化活動を助長する。

意図・成果
芸術文化活動事業費補助　文化団体の事業が活発に行われる。文化協会においては、加盟文化団体による芸能祭や文化際、美術展の開催などが、また美術協会においては、美協展などが開催される。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	加盟団体における事業参加団体の割合 単位：%	目標値（予測値）	50	70	70
		実績値	80	73	
		達成度（%）	160	104	
	美協展の入場者数 単位：人	目標値（予測値）	1,200	1,175	1,175
		実績値	1,550	1,175	
		達成度（%）	129	100	
定性指標	2021年度達成基準	文協：「岡崎文化」44号を発行し、「第25回文協芸能祭」「第34回文協文化祭」「第２回文協美術展」を開催する。			
	2021年度達成結果	文協：「岡崎文化」44号を発行し、「第1回文協美術展」を開催した。芸能祭・文化祭は開催を中止した。			
	2022年度達成基準	文協：「岡崎文化」45号を発行し、「第25回文協芸能祭」「第34回文協文化祭」「第２回文協美術展」を開催する。			
	2022年度達成結果	文協：「岡崎文化」45号を発行し、「第25回文協芸能祭」「第34回文協文化祭」「第２回岡崎文協美術展」を開催した。			
	2023年度達成基準	文協：「岡崎文化」４６号を発行し、「第２６回文協芸能祭」「第３５回文協文化祭」「第３回岡崎文協美術展」を開催した。			
指標分析	文協：コロナ禍においても「岡崎文化」４５号発行、「第２５回文協芸能祭」「第３４回文協文化祭」「第２回岡崎文協美術展」と全ての事業を行い、市民文化の向上に努めた。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	996,000	1,980,000
	人員	2	2.2

担当所属	社会文化部文化振興課	連絡先	23-6975

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：維持管理型

業務活動名	竜美丘会館管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化を支える基盤づくり
根拠法令要綱	地方自治法、岡崎市竜美丘会館条例		
事業期間	-　～　-	運営形態	指定管理者

事業概要

事業概要
竜美丘会館は、ホール、特別会議室、多目的会議室、和室を有する施設で、市民の文化活動や事業所の事業活動の拠点となっている。ホールは、市内唯一の平土間形式のホールであり、広場的利用や移動席を設置しての利用など、多種多様な使い勝手を有している。指定管理者制度を導入し、民間事業者のノウハウを活かした管理運営を行っている。市による指定管理者のモニタリング、有識者による外部モニタリング等により、業務水準書に則した検証、監視を行い、業務履行状況の確認を行っている。【施設概要：ホール 定員1,008人（１階移動席820席、2階固定席188席）、集会室 9室】【根拠法令：岡崎市竜美丘会館条例】○竜美丘会館の管理運営 ○根拠法令：岡崎市竜美丘会館条例

対象
市民・利用者

手段
○指定管理者による管理運営　・竜美丘会館管理運営　・修繕（精算）　・光熱水費（精算）

意図・成果
市民に文化活動の場所を提供し芸術文化の振興に寄与する。また、市内外の事業所の販売活動、商品展示、会議・式典等の場としても提供する。 指定管理者による管理運営により、民間事業者のノウハウを活かした安全・安心・快適な施設環境の提供と公平・公正・親切なサービスを提供する。○管理経費の削減を図る。○市民サービスの向上を図る。○利用者が安全に文化活動を行う。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	ホール利用率 単位：%	目標値（予測値）	66	66	66
		実績値	57	68	
		達成度（%）	86	103	
	集会室稼働率 単位：%	目標値（予測値）	59	60	60
		実績値	43	51	
		達成度（%）	73	85	
定性指標	2021年度達成基準	接遇や安全管理など、職員レベルの向上を目的とした研修を、習熟度を上げるため繰り返し実施し、利用者のサービス向上、満足度の向上を図る。			
	2021年度達成結果	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図ることができた。			
	2022年度達成基準	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図る。			
	2022年度達成結果	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図ることができた。			
	2023年度達成基準	接遇や安全管理など、職員のレベル向上を目的とした研修を、習熟度を上げるために繰り返し実施し、利用者サービスの向上、満足度の向上を図る。			
指標分析	新型コロナウイルス感染症が収束し始めたことにより、施設利用者が増加し、ホール利用率は66%の目標値に対して68%となり、目標値を２%上回った。一方、集会室稼働率は前年度から増加したものの、60%の目標値に対して51%となり、目標値を9%下回った。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	114,714,919	124,907,055
	人員	0.7	0.66

担当所属	社会文化部文化振興課	連絡先	23-6977

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	スポーツ競技支援		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	スポーツ推進計画	基礎事業名	スポーツの参画人口増加
根拠法令要綱	スポーツ基本法		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）

事業概要

事業概要
スポーツ基本法に位置づけられたスポーツ推進委員を支援し、広く市民のニュースポーツの発展・普及を図る。スポーツ推進委員の資質向上を図るため活動を助成する。
ニュースポーツの普及と生涯スポーツの推進を図るため、新たにスポーツフェスティバルを開催するとともに、スポ・レク器具の貸し出しを行う。
岡崎市スポーツ推進計画に基づき、市にゆかりがあり、世界・全国レベルで活躍する選手・チームを発掘し、地域ぐるみで支え応援するため、岡崎アスリート支援事業を継続して実施する。競技者の継続的な意欲向上を図るため、国際大会や全国大会出場者にアスリート支援金を支給する。

対象
スポーツ推進委員、スポーツ競技者、国際大会や全国大会出場者

手段
・スポーツ推進委員への報酬及びユニホームの支給・スポーツ推進委員の資質向上のための研修会場使用料・スポーツ推進委員活動を支援するスポーツ保険の加入・スポーツフェスティバルの開催・岡崎アスリートへの支援の実施・全国スポーツ大会等出場者へアスリート支援金の支給

意図・成果
スポーツ推進委員の活動を支援することにより、市のスポーツ振興が図られる。スポ・レク器具の貸し出しをすることにより、ニュースポーツの普及が図られる。全国スポーツ大会等出場者を激励することにより、競技力の向上が図られる。様々な形でアスリートを支援して地域が支えることで、市民との連携が図られる。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	スポーツ推進委員研修会参加者数 単位：人	目標値（予測値）	250	250	250
		実績値	23	255	
		達成度（%）	9	102	
	岡崎アスリート支援対象者登録数 単位：人	目標値（予測値）	-	10	10
		実績値	25	9	
		達成度（%）	-	90	
定性指標	2021年度達成基準				
	2021年度達成結果				
	2022年度達成基準				
	2022年度達成結果				
	2023年度達成基準				
指標分析	地域でのスポーツ振興を図るためには、各学区のスポーツ推進委員の資質向上が必要であるため、スポーツ推進委員の研修会参加数を指標としており、ほぼ目標人数を達成出来た。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	12,920,032	15,884,303
	人員	1.1	1

担当所属	社会文化部スポーツ振興課	連絡先	23-6436

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：維持管理型

業務活動名	スポーツ施設維持管理		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	スポーツ推進計画	基礎事業名	スポーツの参画人口増加
根拠法令要綱	スポーツ基本法、岡崎市スポーツ施設条例、岡崎市スポーツ施設条例施行規則		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）

事業概要

事業概要
運動広場を始めとする、主に屋外スポーツ施設の適切な維持管理を行い、市民に安心・気軽に利用できるスポーツ環境を提供する。

対象
施設を利用する市民

手段
①スポーツ施設や設備の定期点検及び保守業務②スポーツ施設の清掃業務③スポーツ施設の除草及び整地④スポーツ施設や設備の修繕⑤河川敷スポーツ施設設備移設 等

意図・成果
スポーツ施設の適切な維持管理を行うことで、市民が安心・気軽に利用できるよう、スポーツ施設の利用促進を図る。各地域で市民が安心・気軽に利用できるスポーツ環境を提供できている。施設の種類 ①運動場(南公園 境公園 明神橋公園 日名公園 六名公園 梅園公園 美合公園 みどり公園 矢作公園 井田公園 三百田公園 堤下公園 東部 美矢井橋河川緑地 渡橋河川緑地 日名橋河川緑地 額田) ②テニスコート(梅園公園　緑丘　乙川　牧平 中伊西)　③学区運動広場（岩津 大幡 天神橋 舞木 奥殿 美合 藤川 六南あおみ野 常磐南）　④その他施設（カヌー練習場 東公園ＯＬコース 藤川射撃場 羽根乗馬場）

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	スポーツ施設利用者数 単位：人	目標値（予測値）	600,000	800,000	800,000
		実績値	756,844	796,764	
		達成度（%）	126	100	
	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準	保守点検等年間を通して委託する業務は早期に契約をし、その他修繕も計画的に実施することで、利用できなくなる期間を少なくする。危険個所や不良個所の早期発見に努め、安全に安心して施設を利用できる状態を維持する。			
	2021年度達成結果	計画的に整備、修繕を実施し、利用者に不便をきたすことなく、順調に整備、修繕を行えた。			
	2022年度達成基準	保守点検等年間を通して委託する業務は早期に契約をし、その他修繕も計画的に実施することで、利用できなくなる期間を少なくする。危険個所や不良個所の早期発見に努め、安全に安心して施設を利用できる状態を維持する。			
	2022年度達成結果	計画的に整備、修繕を実施し、利用者に不便をきたすことなく、順調に整備、修繕を行えた。			
	2023年度達成基準	保守点検等年間を通して委託する業務は早期に契約をし、その他修繕も計画的に実施することで、利用できなくなる期間を少なくする。危険個所や不良個所の早期発見に努め、安全に安心して施設を利用できる状態を維持する。			
指標分析	わずかであるが利用者数の目標を達成することができなかった。天神橋運動広場が工事ため利用できなくなったことが原因が考えられる。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	45,496,565	44,681,953
	人員	1.5	2

担当所属	社会文化部スポーツ振興課	連絡先	23-6361

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	スポーツ大会運営委託		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	スポーツ推進計画	基礎事業名	スポーツの競技力向上
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（全部委託）

事業概要

事業概要
アマチュアスポーツの健全な普及発展を図り、市民の体力向上と増進に努め、明るい市民生活の発展に寄与することを目的とする。市内の46のスポーツ競技団体を統括している公益財団法人岡崎市スポーツ協会に、市民スポーツ大会の開催を委託し、市民の健康の保持・増進、体力の向上及び競技力の向上を図る。

対象
市民

手段
円滑な大会運営を図るため、46のスポーツ協会加盟団体（加盟スポーツ団体含む）を統括している公益財団法人岡崎市スポーツ協会へ、43の市民スポーツ大会の開催を委託する。射撃、アーチェリー、剣道、サッカー、テニス、ボウリング、ソフトボール、ボクシング、ソフトテニス、卓球、弓道、バドミントン、ハンドボール、グラウンド・ゴルフ、バレーボール、軟式野球、グライダー、ラグビー、馬術、ゲートボール、空手道、相撲、インディアカ、バスケットボール、水泳、なぎなた、陸上、健康ウォーク、少林寺拳法、居合道、オリエンテーリング、合気道、カヌー、柔道、綱引き、スキー、サイクリング、マレットゴルフ、フルコンタクト空手道、スポーツ吹矢、ソフトバレー、ママさんバレーボール、ミニテニス。計43大会。

意図・成果
市民に広くスポーツに親しむ機会を身近に提供することで、市民の健康の保持・増進、体力の向上が図られる。競技大会を開催することにより、選手は大会の好成績獲得に向けた日々の練習をすることになり、ひいては技術力及び競技力の向上が図られる。また、各団体や指導者の育成・支援を行うことにより、市民の自発的なスポーツ活動の活性化を図る。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	各大会参加者数 単位：人	目標値（予測値）	10,000	10,000	8,500
		実績値	6,642	8,788	
		達成度（%）	66	88	
	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準				
	2021年度達成結果				
	2022年度達成基準				
	2022年度達成結果				
	2023年度達成基準				
指標分析	目標の参加者を確保することはできなかったが、感染対策を行いながら各種目の大会を開催することができた。今後も継続して、各種目の大会を開催する。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	7,557,713	10,742,482
	人員	0.15	3

担当所属	社会文化部スポーツ振興課	連絡先	23-6436

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	スポーツ大会開催		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	スポーツ推進計画	基礎事業名	スポーツの参画人口増加
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）

事業概要

事業概要
市民の健康の保持・増進、体力の向上を図り、スポーツの楽しさを実感してもらうため、各種のスポーツ大会やスポーツイベントを開催するなど多くの市民にスポーツに親しむ機会を提供する。

対象
市民及び市外のスポーツイベント参加者

手段
・１１月のおかざきマラソン、１月の岡崎市民駅伝競走大会を関係機関と連携して実施。

意図・成果
広く市民にスポーツの機会を提供することにより、スポーツを通した市民の健康の保持・増進、体力の向上を図ることができる。スポーツをする楽しみを実感することにより、市民生活にスポーツを定着させる。競技スポーツへの参加により、競技力の向上が図られる。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	駅伝・おかざきマラソン・１日スポーツ参加者数 単位：人	目標値（予測値）	2,200	2,200	3,500
		実績値		3,546	
		達成度（%）	-	161	
	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準	参加者目標 2,200名(駅伝2,200名)			
	2021年度達成結果	参加者実績 0名			
	2022年度達成基準	参加者目標 6,000名(駅伝2,200名 おかざきマラソン3,800名)			
	2022年度達成結果	参加者実績 3,546名			
	2023年度達成基準	参加者目標 6,000名(駅伝1,500名 おかざきマラソン2,000名)			
指標分析	新型コロナの影響により中止となっていたが、2022年度には感染対策を施しながら開催することができた。ただコロナ前の参加者数には満たないため、今後継続して参加者数を増やすことに努める。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	120,881	15,410,192
	人員	0.85	2

担当所属	社会文化部スポーツ振興課	連絡先	23-6436

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	岡崎市スポーツ協会補助		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	スポーツ推進計画	基礎事業名	スポーツの参画人口増加
根拠法令要綱	岡崎市体育協会補助金交付要綱		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（補助等）

事業概要

事業概要
市民の体力向上、競技力向上を目指し、スポーツ協会加盟46団体（加盟スポーツ団体含む）の統括並びにスポーツ少年団の育成のため、公益財団法人岡崎市スポーツ協会の運営事業の補助を行う。

対象
岡崎市スポーツ協会及びスポーツ協会の加盟団体及びスポーツ少年団。

手段
スポーツ協会運営(職員の人件費)補助（補助率：10/10）、スポーツ協会加盟46団体（加盟スポーツ団体含む）及びスポーツ少年団への補助金の交付。

意図・成果
市民の生涯スポーツの振興及び競技力の向上を図る。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	スポ協・スポ少会員数 単位：人	目標値（予測値）	15,000	15,500	15,500
		実績値	15,358	15,928	
		達成度（%）	102	103	
	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準	スポーツ協会加盟団体会員 スポーツ少年団会員 目標会員数 14,736名			
	2021年度達成結果	体育協会加盟団体会員 13,591名　スポーツ少年団会員 1,767名			
	2022年度達成基準	スポーツ協会加盟団体会員 スポーツ少年団会員 目標会員数 15,500名			
	2022年度達成結果	体育協会加盟団体会員 14,118名　スポーツ少年団会員 1,810名			
	2023年度達成基準	スポーツ協会加盟団体会員 スポーツ少年団会員 目標会員数 15,500名			
指標分析	少子高齢化の影響があり、少年団への加入人数や競技を主とした競技団体の加入人数は平成23年実績（18,938人）を最高に減少傾向にあるが、加盟団体は増加傾向にある。また、スポーツをする、指導を受ける環境は充実しており、スポーツの推進と普及に一定の成果が見られる。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	66,568,484	68,538,000
	人員	0.4	1

担当所属	社会文化部スポーツ振興課	連絡先	23-6436

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：維持管理型

業務活動名	岡崎市体育館管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	スポーツ推進計画	基礎事業名	スポーツの参画人口増加
根拠法令要綱	スポーツ基本法、岡崎市スポーツ施設条例、岡崎市スポーツ施設条例施行規則		
事業期間	1976　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）

事業概要

事業概要
岡崎市スポーツ施設条例及び岡崎市スポーツ施設条例施行規則に基づき、市民に日常生活の中でスポーツ活動に親しむ機会を提供し、健康の保持増進と体力の向上、スポーツ施設の充実を図るために、スポーツができる平均的水準を保てるように、岡崎市体育館を設置し、維持管理をしていく。

対象
施設利用者・市民

手段
施設保守及び競技場、武道場、トレーニング室等の運営

意図・成果
施設及び設備の年間保守点検により効果的・効率的に修繕・改修し、利用者の安心・安全な利用環境を確保し、快適に利用できるスポーツ施設を提供する。市民のスポーツ振興を図る施設の維持管理をする。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	岡崎市体育館利用者数 単位：人	目標値（予測値）	120,000	150,000	150,000
		実績値	113,445	137,977	
		達成度（%）	95	92	
	予約率 単位：%	目標値（予測値）	-	78	85
		実績値	73	85	
		達成度（%）	-	108	
定性指標	2021年度達成基準				
	2021年度達成結果				
	2022年度達成基準				
	2022年度達成結果				
	2023年度達成基準				
指標分析	Ｒ２から引き続いて、新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、予約率及び年間利用者数の目標は達成できなかった。これは、施設の時短営業及び予約済みの大会が自主的に中止されたことによると考えられるが、少しずつ状況回復している。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	45,160,474	56,200,477
	人員	1.25	3

担当所属	社会文化部スポーツ振興課	連絡先	53-1811

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	学校体育施設開放		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	スポーツ推進計画	基礎事業名	スポーツの参画人口増加
根拠法令要綱	社会教育法、スポーツ基本法等		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）

事業概要

事業概要
学校体育施設を学校教育に支障がない範囲でスポーツ活動に開放し、市民が身近に日常生活の中でスポーツ活動に親しむ機会を提供する。

対象
各学区住民学校体育施設開放運営委員会学校体育施設開放利用団体

手段
学校体育施設の市民へのスポーツ開放岡崎市立の全小中学校 小学校47校 中学校 20校岡崎市内の県立学校　県立学校6校

意図・成果
市内全学区にある学校体育施設は市民に身近で、市民の健康の保持増進と体力の向上など、日常生活の中でスポーツ活動に親しむ機会として有効である。また、地域スポーツクラブの発展及び育成を図る活動拠点として最も適している。スポーツ開放は昭和50年代から行われ、学区住民が身近にスポーツ活動に親しむ機会として既に確立されている。総合型地域スポーツクラブとは形態が異なるが、学区を一つのクラブと考えれば、地域に根付いた様々なスポーツを扱うクラブとみなすことができ、地域スポーツクラブの発展及び育成を図る礎となっている。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	学校体育施設開放利用者数 単位：人	目標値（予測値）	285,000	350,000	450,000
		実績値	347,514	449,592	
		達成度（%）	122	128	
	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	

定性指標	2021年度達成基準	73校 学校、市民が安全安心にスポーツ利用できるように事業を継続する
	2021年度達成結果	73校 新型コロナウイルス感染状況を勘案し、感染拡大防止のため事業を中止した学校もあったが、目標を達成することができた
	2022年度達成基準	73校 学校、市民が安全安心にスポーツ利用できるように事業を継続する
	2022年度達成結果	73校 新型コロナウイルス感染状況を勘案し、感染拡大防止のため事業を中止した学校もあったが、目標を達成することができた
	2023年度達成基準	73校 学校、市民が安全安心にスポーツ利用できるように事業を継続する
指標分析	利用者数は目標を達成し、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じ、学校の安全に注意し事業を継続することができた。引き続き、感染状況に対応しながら安全に事業が継続できるよう、運営委員会を支援していく。	

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	14,047,507	14,412,340
	人員	0.35	2

担当所属	社会文化部スポーツ振興課	連絡先	23-6361

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	高校野球大会誘致		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	スポーツ推進計画	基礎事業名	スポーツの競技力向上
根拠法令要綱	-		
事業期間	2011　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）

事業概要

事業概要
愛知県高校の野球主要大会を誘致することにより、広く市民に観戦機会を提供し、より一層のスポーツ振興を図る。また、市外からも多くの観戦者を迎えるため、全国高校野球選手権県大会の観戦者に無料直行バスの運行及び愛知県高校野球連盟へ大会負担金を支出する。

対象
高校野球大会観戦者

手段
高校野球大会開催経費の一部を負担し、誘致活動する。名鉄東岡崎駅と中央総合公園の間で無料直行バスを運行し、観戦者の利便性向上を図り、観戦者増加に努める。また、曜日や対戦カードにより観戦者が増加した場合、バスで来場してもらうことにより、車での来場者が多数になることを抑え、園内や周辺道路の渋滞対策としても効果がある。

意図・成果
市内外から多くの観戦者を迎え、岡崎レッドダイヤモンドスタジアムのＰＲを図るとともに、ハイレベルな試合観戦の機会を提供し、小中高校で野球に取り組む選手の技術向上を図る。また、名鉄東岡崎駅と中央総合公園の間で無料直行バスを運行し、観戦者の利便性向上を図り、観戦者の増加に努めるとともに、渋滞対策としての効果を目指す。県内他市の球場は、駐車場は少ないが、公共交通機関からのアクセスは比較的良好な球場がほとんどである。岡崎レッドダイヤモンドスタジアムは主要駅からも遠く、在来の路線バスはあるが、本数も少なく公共交通機関が良好とは言えない。この弱点を補う手段として無料直行バスを運行することにより、他市野球場での公共交通機関の利便性と本市野球場の利便性のバランスを保つことができ、本市への誘致が可能となる。スポーツの中でも高校野球は人気のコンテンツであり、名古屋市という大規模都市がありながら、選手権大会の県予選の決勝、準決勝の開催会場となることで、観戦スポーツの推進ができ、また、市外への大きなＰＲを図ることができる。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	1日平均観戦者数 単位：人	目標値（予測値）	750	2,000	1,700
		実績値	1,914	1,714	
		達成度（%）	255	86	
	観戦者数 単位：人	目標値（予測値）	-		25,000
		実績値		25,720	
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準				
	2021年度達成結果				
	2022年度達成基準				
	2022年度達成結果				
	2023年度達成基準				
指標分析	感染症対策を実施したうえで大会を開催しており、必要な支援の結果、目標には満たないものの観戦者数を確保することができた。当年度も引き続き適切な支援を行っていく。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	4,761,681	5,573,619
	人員	0.3	3

担当所属	社会文化部スポーツ振興課	連絡先	23-6436

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	国際大会等誘致		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	スポーツ推進計画	基礎事業名	スポーツによる岡崎の活性化
根拠法令要綱	-		
事業期間	2018　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）

事業概要

事業概要
東京オリンピック・パラリンピック競技大会、2020年～2024年の世界ラリー選手権（ＷＲＣ）、2026年のアジア競技大会等の国際大会誘致、及びキャンプ地等の誘致を行う。

対象
国際大会を観戦する市内外及び海外からの観戦客本市でキャンプ等を行うナショナルチームの選手・コーチナショナルチームの役員

手段
国際大会を観戦する市内外及び海外からの観戦客に対し、本市のＰＲを行う。本市でキャンプ等を行うナショナルチームの関係者のサポートを行う。

意図・成果
ＷＲＣをはじめ国際大会を観戦するため、海外、県外からの来訪者が予想されるため、地域の活性化を図ることができる。また、キャンプ地等の誘致を行うことにより、ナショナルチームのトップレベルの練習を観ることができる。トップレベルのスポーツの試合や練習を観ることにより、感動を与え、スポーツの裾野の拡大やスポーツの意欲の高揚を図ることができる。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準	WRCを活用した地域活性化施策効果を伴う、スペシャルステージの誘致・誘客及び地域活性化推進事業の実施。			
	2021年度達成結果	2021年度のWRCについては新型コロナウイルスの影響により、競技自体の実施が中止となったものの、代替イベントとして、セントラルラリー2021を開催することができた。			
	2022年度達成基準	WRCを活用した地域活性化施策効果を伴う、スペシャルステージの誘致・誘客及び地域活性化推進事業の実施。			
	2022年度達成結果	市内２カ所（乙川河川敷、額田地区）で、WRCのスペシャルステージと併催イベントを実施し一定の経済効果が出た。			
	2023年度達成基準	市内２カ所で、WRCのスペシャルステージの開催と併催イベントを実施し、地域経済活性化と世界に向けて岡崎市のPRを行う。			
指標分析	全国45の都道府県より、約8,000人の有料観客が訪れ、競技以外の沿道にも２万人以上の観客が集まるなど、まち全体の盛り上がりを醸成することができた。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	26,328,260	62,673,042
	人員	2.6	2

担当所属	社会文化部スポーツ振興課	連絡先	23-7922

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	地域市民スポーツ振興費補助		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	スポーツ推進計画	基礎事業名	スポーツの参画人口増加
根拠法令要綱	岡崎市地域市民スポーツ振興費補助金交付要綱		
事業期間	- ～ 2021	運営形態	自治事務（補助等）

事業概要

事業概要
地域市民スポーツの振興に資するため、各学区社会教育委員会が行う地域スポーツ振興事業に対し補助金を交付し、各学区の社会体育、スポーツ活動の支援を行う。

対象
岡崎市学区社会教育委員会連絡協議会を通して、市内47学区社会教育委員会へ交付。学区社会教育委員会は、この補助金を活動資金として学区の社会体育振興を図る。対象経費：岡崎市学区社会教育委員長連絡協議会が行う地域スポーツ振興事業補助率：（小学校区内の住民数×4.5円）+90,000円

手段
学区社会教育委員会が行う、スポーツ振興とふれあいを深めるための行事に要する経費の一部を補助する。学区運動会、ソフトボール大会、ソフトバレーボール大会、子ども会球技大会、グラウンド・ゴルフ大会、ファミリー体育祭、バレーボール大会、バドミントン大会、ふれあいウォーキング大会等。

意図・成果
学区社会教育委員会の活動により、各学区民のスポーツ活動の振興を通じて地域相互の交流を深め、ふれあいの輪を広げていく。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	各学区の事業参加者数 単位：人	目標値（予測値）	10,000	10,000	30,000
		実績値	8,956	31,575	
		達成度（%）	90	316	
	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準	47学区社会教育委員会が実施する、運動会、ソフトボール大会、ソフトミニバレーボール大会、子ども会球技大会、グラウンド・ゴルフ大会、ファミリー体育祭、バレーボール大会、バドミントン大会等 総参加者目標 10,000名			
	2021年度達成結果	実績参加者数 8,956名			
	2022年度達成基準	47学区社会教育委員会が実施する、運動会、ソフトボール大会、ソフトミニバレーボール大会、子ども会球技大会、グラウンド・ゴルフ大会、ファミリー体育祭、バレーボール大会、バドミントン大会等 総参加者目標 10,000名			
	2022年度達成結果	実績参加者数 31,575名			
	2023年度達成基準	47学区社会教育委員会が実施する事業、総参加者目標 30,000名			
指標分析	コロナウイルス感染症防止対策を講じ、各学区での大会を支援することができた。引き続き事業が行えるように支援していく。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	4,590,381	5,328,980
	人員	0.05	3

担当所属	社会文化部スポーツ振興課	連絡先	23-6436

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：維持管理型

業務活動名	地区体育館管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	スポーツ推進計画	基礎事業名	スポーツの参画人口増加
根拠法令要綱	スポーツ基本法、岡崎市スポーツ施設条例、岡崎市スポーツ施設条例施行規則		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）

事業概要

事業概要
岡崎市スポーツ施設条例及び岡崎市スポーツ施設条例施行規則に基づき、市民に日常生活の中でスポーツ活動に親しむ機会を提供し、健康の保持増進と体力の向上、スポーツ施設の充実を図るために、スポーツができる平均的水準を保てるように、地区体育館（矢作体育館・井田体育館・六ツ美体育館）を設置し、維持管理をしていく。

対象
施設利用者・市民

手段
施設保守・管理委託料等

意図・成果
地区体育館（矢作体育館・井田体育館・六ツ美体育館）の効率的・効果的管理運営により利用者の安全な利用環境を確保し、安心して快適に利用できるスポーツ施設として、市の西部・南部・北部に地区体育館を提供する。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	地区体育館利用者数 単位：人	目標値（予測値）	45,000	50,000	51,000
		実績値	48,189	50,635	
		達成度（%）	107	101	
	予約率 単位：%	目標値（予測値）	-	83	81
		実績値	78	81	
		達成度（%）	-	97	
定性指標	2021年度達成基準				
	2021年度達成結果				
	2022年度達成基準				
	2022年度達成結果				
	2023年度達成基準				
指標分析	新型コロナウィルス感染拡大に注意しつつ、利用者数は目標達成できた。しかし、予約率の目標は達成できなかった。これは、利用者が感染防止対策及び利用順守を徹底してくれながら、利用されたことによると考えられる。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	21,624,362	30,985,883
	人員	1.6	3

担当所属	社会文化部スポーツ振興課	連絡先	53-1811

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：維持管理型

業務活動名	農業者体育センター管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	スポーツ推進計画	基礎事業名	スポーツの参画人口増加
根拠法令要綱	岡崎市農業者体育センター条例、岡崎市農業者体育センター条例施行規則		
事業期間	1987　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）

事業概要

事業概要
農業者体育センターの適切な維持管理を行い、市民に安心・気軽に利用できるスポーツ環境を提供する。

対象
施設を利用する市民

手段
施設保守、管理委託料等・清掃業務・警備業務・消防設備保守点検業務・防火対象物点検・自家用電気工作物保守点検業務・管理委託業務・浄化槽保守清掃業務・浄化槽法定検査・公共建築物定期点検

意図・成果
農業者体育センターについて、適切な維持管理を行うことで、市民が安心・気軽に利用できるよう、スポーツ施設の利用促進を図る。岩津地域の社会体育施設として、市民が気軽にスポーツに親しむ機会を提供できている。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	農業者体育センター年間利用者数 単位：人	目標値（予測値）	39,000	35,000	43,000
		実績値	34,633	42,351	
		達成度（%）	89	121	
	単位：	目標値（予測値）			
		実績値			
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準				
	2021年度達成結果				
	2022年度達成基準				
	2022年度達成結果				
	2023年度達成基準				
指標分析	年間利用者数の目標は達成できた。新型コロナウイルス感染症対策が浸透し実施され利用者が戻ってきたと考えられる。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	11,699,476	12,203,098
	人員	0.35	2

担当所属	社会文化部スポーツ振興課	連絡先	23-6361

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：維持管理型

業務活動名	龍北総合運動場整備		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	スポーツ推進計画	基礎事業名	スポーツの参画人口増加
根拠法令要綱	-		
事業期間	2020 ～ -	運営形態	自治事務（全部委託）

事業概要

事業概要
ＰＦＩ事業を活用し、市民の誰もが、それぞれのライフスタイルやライフステージに合わせて、継続的にスポーツに親しめるよう努める。施設の概要・日本陸上競技連盟公認第３種陸上競技場 （サッカーＪＦＬ公式戦開催可能）・メインスタンド（３階建て、約1,000人収容可能）・野球場（硬式野球可、少年野球・ソフトボールは２面可能）・テニスコート８面（人工芝、２階建てクラブハウス）・サッカー・ラグビー場１面（人工芝）・アーチェリー場・多目的運動場・ジョギング・ウォーキングコース（２コース）

対象
市民

手段
平成27年度 県営岡崎総合運動場の土地・建物調査（測量、分筆案作成、老朽度調査）　　ニーズ調査・配置計画（ニーズ把握、市内スポーツ施設の配置の分析、利用状況調査、運動場内の配置計画）平成28年度 （仮）龍北総合運動場基本計画の策定平成29年度 ＰＦＩ事業者の選定平成30年度～ （仮）龍北総合運動場の整備平成31年度 供用開始に先立つ利用調整令和２年度 供用開始

意図・成果
市民の誰もが、それぞれのライフスタイルやライフステージに合わせて、継続的にスポーツに親しめるよう総合運動場を整備する。また、総合運動場の活用を通じて市民一人一人の健やかな体力づくり、精神的な充実、地域コミュニティの活性化を目指す。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	スポーツ施設利用者数 単位：人	目標値（予測値）	128,000	140,000	160,000
		実績値	137,808	154,741	
		達成度（%）	108	111	
	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準				
	2021年度達成結果				
	2022年度達成基準				
	2022年度達成結果				
	2023年度達成基準				
指標分析	施設を多くの方に利用していただくことができ、利用者数の目標を達成することができた。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	173,147,323	171,301,818
	人員	0.1	2

担当所属	社会文化部スポーツ振興課	連絡先	23-6531

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	外国人市民支援事業補助		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	多文化共生推進基本計画	基礎事業名	多文化共生の推進
根拠法令要綱	岡崎市外国人市民支援事業費補助金交付要綱		
事業期間	2020　～　2022	運営形態	自治事務（補助等）

事業概要

事業概要
外国人市民の居住期間が長期化して定住化が進行するとともに、外国人市民が抱える多様化・複雑化する問題を行政のみで対処することが困難になりつつある。このような状況下で、外国人支援のためにボランティア活動を行う市民活動団体がこれらの問題へ対処しており、行政の行う多文化共生推進業務を補完している市民活動団体の活動費を補助する。

対象
外国人市民・日本人市民

手段
補助金の交付

意図・成果
・市民活動団体により行政では対応することが難しい外国人市民への細やかな支援が行われる。・外国人市民と日本人市民との相互交流・相互理解が促進される。・市民活動団体と行政との市民協働が促進される。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	ボランティア登録者数 単位：人	目標値（予測値）	149	140	160
		実績値	135	151	
		達成度（%）	91	108	
	実施事業件数 単位：件	目標値（予測値）	-	23	29
		実績値	-	29	
		達成度（%）	-	126	
定性指標	2021年度達成基準	-			
	2021年度達成結果	-			
	2022年度達成基準	-			
	2022年度達成結果	-			
	2023年度達成基準	-			
指標分析	コロナ収束傾向により活動が少しずつ活発になってきたため、ボランティア登録人数も事業件数も増加し、目標を達成した。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	70,000	92,000
	人員	0.35	0.35

担当所属	社会文化部多様性社会推進課	連絡先	23-3148

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	外国人相談		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	多文化共生推進基本計画	基礎事業名	多文化共生の推進
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）

事業概要

事業概要
岡崎市には約70か国13,000人の外国人市民が居住している。その外国人市民が地域の一員として安心して暮らすことができる環境を築くため、多言語（ポルトガル語、英語、中国語、フィリピノ語、スペイン語、ベトナム語）に対応した相談窓口を設置するとともに、市が作成する行政文書の翻訳をする。

対象
市内に居住する外国人市民

手段
①相談

意図・成果
通訳を配置していない市役所内の各部署で手続きが円滑に処理され、相談者の不安が解消される。外国人市民にとって必要となる行政情報が多言語で提供される。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準	外国人相談に適切に対応する。			
	2021年度達成結果	新型コロナウィルスの影響により相談件数が減少したものの、適切に対応することができた。			
	2022年度達成基準	外国人相談および翻訳に適切に対応する。			
	2022年度達成結果	外国人相談および翻訳に適切に対応することができた。			
	2023年度達成基準	外国人相談および翻訳に適切に対応する。			
指標分析	新型コロナウィルスによる状況の変化に対応しながら、適切な相談対応を行うことができた。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	43,495,367	42,363,387
	人員	0.35	0.44

担当所属	社会文化部多様性社会推進課	連絡先	23-6656

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	国際交流推進		
分野別指針	スマートでスリムな行政運営の確立		
個別計画等	その他	基礎事業名	国際交流の推進
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）

事業概要

事業概要
国際交流の推進に関する市民の間の機運の高まりから、昭和60年に岡崎市国際交流協会（ＯＩＡ）が設立された。本業務は、国際交流や多文化共生を推進する役割を持つ岡崎市国際交流協会（ＯＩＡ）の事務局業務を行うものである。

対象
国際交流に関心のある日本人・外国人市民

手段
岡崎市国際交流協会（ＯＩＡ）事務局業務。多文化共生推進事業として外国人市民支援ボランティアの支援等を行う。国際交流事業として会話講座、国際理解講座等を行う。海外交流事業として市から委託を受け姉妹友好都市との提携記念事業、また、ウッデバラ市高校生の受入れ、高校生のウッデバラ市への派遣、呼和浩特市高校生の受入れ、高校生の呼和浩特市への派遣事業を行う。

意図・成果
市民の国際理解の増進、多文化共生の推進や本市の国際化を推進する。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	ＯＩＡ国際理解に関するセミナー参加人数 単位：人	目標値（予測値）	100	150	170
		実績値	135	253	
		達成度（%）	135	169	
	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準	-			
	2021年度達成結果	-			
	2022年度達成基準	-			
	2022年度達成結果	-			
	2023年度達成基準	-			
指標分析	親子で参加する講座を充実させて、目標を上回った。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	0	0
	人員	1.7	1.34

担当所属	社会文化部多様性社会推進課	連絡先	23-6656

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	国際理解推進		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	多文化共生推進基本計画	基礎事業名	多文化共生の推進
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）

事業概要

事業概要
外国人市民と日本人市民との交流を促進するための拠点となるりぶら国際交流センター（ＬＩＣＣ）を運営し、外国の文化を学ぶ講座を開催するなど互いの文化や生活習慣を学習する機会を提供する。

対象
日本人市民と外国人市民

手段
①国際理解セミナーの開催

意図・成果
日本人市民が様々な国の文化や生活習慣を学習し、地域の外国人市民をより理解できるようになる。外国人市民が日本の文化や生活習慣、規則を学習し、地域の日本人市民とスムーズな共生ができるようになり、相互交流が促進される。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	受講者数 単位：人	目標値（予測値）	270	190	250
		実績値	179	320	
		達成度（%）	66	168	
	ＬＩＣＣ講座数 単位：回	目標値（予測値）	-	21	20
		実績値	-	25	
		達成度（%）	-	119	
定性指標	2021年度達成基準	-			
	2021年度達成結果	-			
	2022年度達成基準	-			
	2022年度達成結果	-			
	2023年度達成基準	-			
指標分析	多文化共生専門員による講座を追加し、講座回数および受講者数の目標値を上回った。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	41,887	145,847
	人員	0.35	0.45

担当所属	社会文化部多様性社会推進課	連絡先	23-3148

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	姉妹友好都市交流		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	多文化共生推進基本計画	基礎事業名	多文化共生の推進
根拠法令要綱			
事業期間	～	運営形態	自治事務（一部委託）

事業概要

事業概要
岡崎市では、現在、海外３都市と姉妹友好提携をしている。周年をはじめとして訪問団の相互派遣が行われており、また国際交流協会を中心にウッデバラ市高校生訪問団の受入れ、高校生のウッデバラ市及び呼和浩特市派遣が行われている。本業務活動は、訪問団の受入・派遣等の交流を行う。

＜姉妹友好都市＞　＜提携年＞　＜直前の周年＞　＜今後の周年＞

スウェーデン王国 ウッデバラ市　1968年（昭和43年）　2018年（平成30年）50周年 2028年（令和10年）60周年

アメリカ合衆国 ニューポートビーチ市　1984年（昭和59年）　2014年（平成26年）30周年 2024年（令和６年）40周年

中華人民共和国 呼和浩特（フフホト）市　1987年（昭和62年）　2017年（平成29年）30周年 2027年（令和９年）40周年

対象
姉妹友好都市交流事業の参加者

手段
・姉妹友好都市との連絡調整。

意図・成果
姉妹友好都市との信頼関係維持により、青少年等の相互訪問交流など関係事業を継続する環境を整え、市民の国際理解の増進を図る。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準	姉妹友好都市とのオンラインを活用した交流を実施する。			
	2021年度達成結果	姉妹都市（ウッデバラ市）とのオンラインを活用した交流を実施することができた。			
	2022年度達成基準	姉妹友好都市とのオンラインを活用した交流を実施する。			
	2022年度達成結果	姉妹都市（ウッデバラ市、ニューポートビー市）とのオンラインを活用した交流を実施することができた。			
	2023年度達成基準	姉妹友好都市と対面またはオンラインを活用した交流を実施する。			
指標分析	オンラインを活用し、姉妹都市（ウッデバラ市、ニューポートビー市）との交流と、友好都市（呼和浩特市）との対談を実施することができた。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	0	0
	人員	0.85	0.75

担当所属	社会文化部多様性社会推進課	連絡先	23-3148

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	女性活躍推進		
分野別指針	女性や子どもがいきいきと輝ける社会づくり		
個別計画等	男女共同参画基本計画	基礎事業名	女性活躍の推進
根拠法令要綱	男女共同参画社会基本法、女性活躍推進法、雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律、岡崎市男女共同参画の推進及び多様な性を		
事業期間	2016　～　2026	運営形態	自治事務（一部委託）

事業概要

事業概要
女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（以下、女性活躍推進法）第６条に規定の「市町村推進計画」として位置づけられた第５次岡崎市男女共同参画推進計画に基づき、女性の職業生活における活躍を推進するとともに、ワーク・ライフ・バランス推進の支援を行う。

対象
市民、市民団体、事業者

手段
就業希望等の女性を対象にした人材育成や就労へのマッチング、柔軟な働き方としてのテレワーカーの養成、スキルアップのためのｅラーニングの実施、市内事業所へのアドバイザーの派遣等を行い、女性活躍やワーク・ライフ・バランスを推進する。また、子育て中の女性の就業を支援するため、公共職業安定所との共催でおしごと相談室や、育休復帰を支援するセミナー等を開催する。

意図・成果
就業中、又は就業希望の女性の個性と能力が十分に発揮されている。性別を問わず、職業生活と家庭生活との円滑かつ継続的な両立が可能になっている。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	市内におけるあいち女性輝きカンパニー認証企業数の合計 単位：事業所	目標値（予測値）	30	30	30
		実績値	40	64	
		達成度（%）	133	213	
	女性活躍推進講座開催数 単位：回	目標値（予測値）	-	4	4
		実績値	-	9	
		達成度（%）	-	225	
定性指標	2021年度達成基準	-			
	2021年度達成結果	-			
	2022年度達成基準	-			
	2022年度達成結果	-			
	2023年度達成基準	-			
指標分析	アドバイザー派遣事業等、女性活躍の支援やワーク・ライフ・バランスの推進の効果により、目標値を上回った。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	4,293,035	4,213,471
	人員	1.1	1.01

担当所属	社会文化部多様性社会推進課	連絡先	23-6222

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	多文化共生推進		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	多文化共生推進基本計画	基礎事業名	多文化共生の推進
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）

事業概要

事業概要
本市では、平成2年以降、工場などの労働力として来日した日系ブラジル人を中心に急速に外国人人口が増加し、言葉の壁や文化、価値観、生活習慣の違いから、地域で様々な問題が発生するようになった。平成20年のリーマンショック以降外国人市民数は減少していたが、平成27年度から再び増加に転じ、現在約13,000人の外国人が居住している。また、市内に居住する期間の長期化の傾向がみられ、生活者として様々な課題に直面する外国人市民が増えている。本業務活動では、外国人市民と日本人市民の円滑な共生を推進し、外国人市民が地域の一員として安心して暮らし、滞在することができる環境を築くための取り組みを実施する。

対象
外国人市民及び外国人市民が生活する地域の日本人市民

手段
日本で生活する上で知っておくべき日本の制度などを学ぶ生活ルール講座を開催する。外国人集住地区で、通訳として地域の総代の業務を補佐する外国人市民をコミュニティ通訳員として配置する。町内会・自治会が作成する町内規約や回覧などの文書を翻訳する。災害時に災害時多言語支援センターを設置する。本市の多文化共生・国際交流の推進について審議・検討する国際化推進委員会を開催する。多文化共生推進基本計画を推進する。多言語表記等で外国人市民に対する利便性の向上を図る。子ども向け日本語教室を開催し、外国人児童生徒の支援をする。多文化共生活動支援を行うボランティアを養成する。

意図・成果
言語や生活習慣の違いから生じる外国人市民とのトラブルの減少。地域の活動に参加する外国人市民の増加。外国人市民の防災意識の向上と災害時における正確な情報伝達。外国人児童生徒の就学・進学・日本語能力に対する不安の緩和。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	多文化共生講座開催数 単位：回	目標値（予測値）	12	13	14
		実績値	13	17	
		達成度（%）	108	131	
	多文化共生ボランティア登録者数 単位：人	目標値（予測値）	-	75	90
		実績値	-	89	
		達成度（%）	-	119	
定性指標	2021年度達成基準	-			
	2021年度達成結果	-			
	2022年度達成基準	-			
	2022年度達成結果	-			
	2023年度達成基準	-			
指標分析	子ども向け日本語教室、多文化親子教室の開催を充実させたことにより、目標を上回った。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	602,203	762,705
	人員	1.2	1.11

担当所属	社会文化部多様性社会推進課	連絡先	23-6656

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	男女共同参画推進		
分野別指針	多様な主体が協働・活躍できる社会づくり		
個別計画等	男女共同参画基本計画	基礎事業名	男女共同参画社会の推進
根拠法令要綱	男女共同参画社会基本法、岡崎市男女共同参画の推進及び多様な性を尊重する社会を実現するための条例		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）

事業概要

事業概要
男女共同参画社会基本法に定めた男女共同参画社会の実現のため、第５次岡崎市男女共同参画基本計画に掲げられているすべての取組が実施されるよう、審議会や庁内推進会議等との連携のもとに各種啓発事業等を実施し男女共同参画を進める。
【岡崎市男女共同参画基本計画（ウィズプランおかざき）】
第１次：平成10～14年度（５年）
第２次：平成15～22年度（８年）
第３次：平成23～27年度（５年）
第４次：平成28～令和２年度（５年）
第５次：令和３～７年度（５年）

対象
市、市民、教育に携わる者、市民団体、事業者、職員

手段
男女共同参画意識を向上させるための各種啓発事業・職員研修の実施、パンフレット等啓発資料の作成・配布、参画意識を高めるための全国会議への職員派遣、市町村で登用できる女性の人材育成を目的としたセミナーや研修会への市民の派遣、男性の家事参画を促す講座の実施、多様な性の尊重に関する講座等の開催、当該講座等における参加者の託児サービスの提供、年次報告書の発行、庁内連携を進める推進会議の開催

意図・成果
固定的な性別役割分担に対する意識が改善され、男性の家事参画や女性の社会進出への理解が進み、男女共同参画社会の実現が推進される。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	男女共同参画講座開催数 単位：回	目標値（予測値）	-	3	6
		実績値	-	8	
		達成度（%）	-	267	
	講座受講後のアンケートで「男女共同参画について理解が深まった」と回答した人の割合 単位：%	目標値（予測値）	75	75	75
		実績値	83	89	
		達成度（%）	111	119	
定性指標	2021年度達成基準	-			
	2021年度達成結果	-			
	2022年度達成基準	-			
	2022年度達成結果	-			
	2023年度達成基準	-			
指標分析	講座等の開催により、受講者の男女共同参画についての理解促進に繋がったため、アンケート結果で目標値を上回った。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	1,065,850	1,225,818
	人員	1.16	1.82

担当所属	社会文化部多様性社会推進課	連絡先	23-6222

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	男女共同参画団体活動支援		
分野別指針	多様な主体が協働・活躍できる社会づくり		
個別計画等	男女共同参画基本計画	基礎事業名	男女共同参画社会の推進
根拠法令要綱	男女共同参画社会基本法、岡崎市男女共同参画の推進及び多様な性を尊重する社会を実現するための条例、岡崎市男女共同参画団体活動事業費補助金交付要		
事業期間	1996　～　-	運営形態	自治事務（補助等）

事業概要

事業概要
第５次岡崎市男女共同参画基本計画に基づき、男女共同参画を推進する市民活動団体（学区女性団体を含む）を支援する。内容は、男女共同参画社会の啓発を目的とした講演会等の開催、男女共同参画社会実現を目的とした子育てサポート事業や介護サポート事業等の各種事業の実施、男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し事業等で、実施実績に応じ岡崎市男女共同参画団体活動事業費補助金交付要綱に基づく補助金を支給し、地域課題に自主的に取り組む力をつけた団体を支援する。

対象
男女共同参画を推進する市民活動団体

手段
活動事業費補助金の交付
補助率：補助対象経費の50%以内
限度額：１団体につき30,000円

意図・成果
慣習やしきたりにとらわれず、その個性と能力を十分に発揮して、女性が自らの生活を充実させ、地域課題解決の場に女性が参画していること。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	学区女性団体等活動事業費補助金申請団体数 単位：団体	目標値（予測値）	12	12	12
		実績値	2	6	
		達成度（%）	17	50	
	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準	-			
	2021年度達成結果	-			
	2022年度達成基準	-			
	2022年度達成結果	-			
	2023年度達成基準	-			
指標分析	各団体が新型コロナウイルス感染症の感染拡大を懸念し、活動を自粛したため申請件数が減少した。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	52,000	96,000
	人員	0.86	0.2

担当所属	社会文化部多様性社会推進課	連絡先	23-6222

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	サポーター活動支援		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	生涯学習推進計画	基礎事業名	学習・交流機会の提供
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）

事業概要

事業概要
令和3年3月策定の生涯学習推進計画において５つの施策の１つとして「生涯学習を支援する人材の育成・推進体制づくり」を挙げている。そこで、生涯学習拠点である図書館交流プラザを活動拠点にしているりぶらサポータークラブ（通称：ＬＳＣ）による自主的な講座の企画、運営を支援することで、市民同士の学び合いを促進する。また、りぶらっこ☆ふぁみりーに、りぶら来館者向けの託児をりぶら乳幼児室において実施してもらうことで、乳幼児の保護者にも安心して図書館交流プラザを利用できるようにする。

対象
市民、りぶら利用者、サポータークラブの活動に関わる又は事業に間接的に参加する市民並びに団体及び図書館交流プラザ託児事業協力者

手段
・りぶらサポータークラブへの業務委託、図書館交流プラザ託児事業の実施

意図・成果
本市の生涯学習の活発化りぶら来館者　年間目標１４０万人（ただし、令和３年度は１０２万５千人）りぶら利用者の満足度向上

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	りぶら年間利用者数 単位：人	目標値（予測値）	1,025,000	1,200,000	1,252,598
		実績値	1,145,295	1,252,598	
		達成度（%）	112	104	
	交流会開催数 単位：回	目標値（予測値）	-		-
		実績値			
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準	新型コロナウイルス感染症拡大防止措置をとりつつ、より多くの市民に来館いただける魅力ある施設とする。			
	2021年度達成結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止措置をとりながら、りぶら講座を開催し、市民に学びの機会を提供することが出来た。また、毎週月曜日と金曜日の託児についても年間を通じて感染防止措置をとりながら実施することで、りぶらを利用しやすい環境づくりを行った。			
	2022年度達成基準	引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら市民の交流に寄与する事業や乳幼児室での託児サービスの提供を行うことにより、より多くの市民に来館いただける施設とする。			
	2022年度達成結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止措置をとりながら、りぶら講座を開催し、市民に学びの機会を提供することが出来た。また、毎週月曜日と金曜日の託児についても年間を通じて感染防止措置をとりながら実施することで、りぶらを利用しやすい環境づくりを行った。			
	2023年度達成基準	-			
指標分析	新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら市民の交流に寄与する事業や乳幼児室での託児サービスの提供を行うことにより、入館者数は昨年度を上回った。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	2,652,471	2,745,905
	人員	0.85	0.45

担当所属	社会文化部生涯学習課	連絡先	23-3252

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	ジャズコレクション活用		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	生涯学習推進計画	基礎事業名	生涯学習拠点による学びの形の創造
根拠法令要綱	-		
事業期間	2012　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）

事業概要

事業概要
内田修ジャズコレクションの有効活用を図るため、公開可能なプライベートテープ音源を活用したセミナー等を故・内田修氏にゆかりのある著名人の協力により開催し、コレクションの価値や意義を広く紹介する。

対象
市民、市内外のジャズ愛好者や音楽愛好者、広く文化芸術に関心のあるかた

手段
故・内田修氏ゆかりのミュージシャン等を講師に招きセミナー等を開催する。
内田修ジャズコレクション内で所蔵するレコードや書籍等の整理を進め、閲覧や試聴が可能なものについてリスト化し、ＨＰて公開する。

意図・成果
内田修ジャズコレクションが岡崎市特有の文化芸術資産として広く認知され、音楽に関する文化の向上及び市の文化振興に貢献する。
国内外からジャズコレクションに来館、問い合わせをする人が増える。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	ジャズコレクション展示室入館者数 単位：人	目標値（予測値）	30,000	38,000	-
		実績値	36,423	55,425	
		達成度（%）	121	146	
	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準	内田修氏ゆかりのミュージシャン等を講師に招きセミナーを開催する。			
	2021年度達成結果	内田修氏ゆかりのミュージシャン等を講師に招きセミナーを開催した。			
	2022年度達成基準	内田修氏ゆかりのミュージシャン等を講師に招きセミナーを開催する。また、公開可能な資料をリスト化し、順次ＨＰで公開する。			
	2022年度達成結果	内田修氏ゆかりのミュージシャン等を講師に招きセミナーを開催する。 一方で、公開可能な資料のリスト化は進めることが出来なかった。			
	2023年度達成基準	-			
指標分析	新型コロナウイルス感染症拡大防止措置を講じながらジャズセミナーを開催することができ、内田修ジャズコレクションの重要さ、貴重さをＰＲすることができた。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	1,006,489	668,329
	人員	0.62	0.76

担当所属	社会文化部生涯学習課	連絡先	23-3158

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	ジャズコレクション展示室運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	生涯学習推進計画	基礎事業名	生涯学習拠点による学びの形の創造
根拠法令要綱	-		
事業期間	2008　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）

事業概要

事業概要
内田修氏より「音楽文化振興のため」として市に寄贈された、世界有数といわれるジャズコレクションを、固有の重要な文化創造資源の一つとして保存、整理するほか、広く市民に展示紹介する。ジャズコレクション展示室運営を通じて、貴重なジャズ資料の提供と「ジャズの街岡崎」のPRに努める。

対象
市民、市内外のジャズ愛好者や音楽愛好者、広く文化芸術に関心のあるかた

手段
内田修氏の活動記録や資料を通して、日本のジャズの歴史を紹介する。コレクションの音源試聴を中心とする展示を実施し、関係資料を公開する。レコードコンサートを開催する。ジャズに関するさまざまな資料を収集し、来館者に提供する。

意図・成果
貴重なジャズコレクションを有効に活用し、市民の音楽文化に対する関心の向上を図り、市の文化振興に貢献する。展示や情報発信を通して、コレクションの価値や可能性が市内外に周知される。また「ジャズの街岡崎」の認知が進み、これを推進する市民活動が広がる。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	ジャズコレクション展示室入館者数 単位：人	目標値（予測値）	30,000	38,000	-
		実績値	36,423	55,425	
		達成度（%）	121	146	
	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準	市内ジャズ関係団体との連携によるレコードコンサートや定期的に入れ替えを行う収蔵品の展示等により、ジャズコレクション展示室の魅力を発信する。			
	2021年度達成結果	市内ジャズ関係団体との連携によるレコードコンサートや定期的に入れ替えを行う収蔵品の展示、セミナー開催に合わせた資料展示等により、ジャズコレクション展示室の魅力を発信することが出来た。			
	2022年度達成基準	市内ジャズ関係団体との連携によるレコードコンサートや定期的に入れ替えを行う収蔵品の展示等により、ジャズコレクション展示室の魅力を発信する。			
	2022年度達成結果	市内ジャズ関係団体との連携によるレコードコンサートや定期的に入れ替えを行う収蔵品の展示、セミナー開催に合わせた資料展示等により、ジャズコレクション展示室の魅力を発信することが出来た。			
	2023年度達成基準	-			
指標分析	新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら展示室の運営を行い、また、レコードコンサートも通常どおり行うことができ、入館者数は目標値も昨年度実績も上回った。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	913,575	427,592
	人員	8.61	0.71

担当所属	社会文化部生涯学習課	連絡先	23-3158

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	ジャズの街岡崎発信		
分野別指針	スマートでスリムな行政運営の確立		
個別計画等	その他	基礎事業名	岡崎のプロモーション
根拠法令要綱	-		
事業期間	2012　～　-	運営形態	自治事務（補助等）

事業概要

事業概要
公民が連携し、ジャズをツールとして情報発信を行い、岡崎のブランド化、街の活性化、文化・観光・まちづくりの振興を図ることを目的とし、「ジャズの街岡崎」を市内外に発信する。

対象
市民、市内の事業者、ジャズ愛好家、ボランティア団体、アーティスト

手段
市民ボランティアと市で構成するジャズの街岡崎発信連絡協議会が行う事業に対し、負担金を支出する。また、同協議会の事業運営に関わるとともに、事務局として広報、会計等の事務を行う。
市中心部で毎年秋に開催される岡崎ジャズストリートに対し、補助金を支出する。（補助対象経費：出演料、補助率：補助対象経費の2分の1かつ予算の範囲内）
りぶらジャズオーケストラＪｒ．岡崎（通称：Beanzz）の運営
Jazzの街岡崎アンバサダーに任命した者と協力してコンサート事業を中心にJazzの街岡崎のPR活動を行う。

意図・成果
「Jazzの街岡崎」の認知度向上、市外からの訪問客・参加者の増加、地元民間事業者への経済波及、次世代のジャズ演奏者の育成

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準	ジャズ事業「岡崎 JAZZ Monthly 2021」を実施し、市内外に「ジャズの街岡崎」を広くPRする。			
	2021年度達成結果	ジャズ事業「岡崎 JAZZ Monthly 2021」を実施し、市内外に「ジャズの街岡崎」をPRすることができた。			
	2022年度達成基準	市民ボランティアや民間事業者と協力して事業を実施し、「Jazzの街岡崎」を広くPRする。			
	2022年度達成結果	市民ボランティアや民間事業者と協力して事業を実施し、「Jazzの街岡崎」を広くPRすることができた。			
	2023年度達成基準	内田修ジャズコレクションの活用、市民ボランティアや民間事業者との協力などにより各種事業を実施し、「Jazzの街岡崎」を広くPRする。			
指標分析	魅力的なジャズイベントを実施したことで、多くの人に「ジャズの街岡崎」をPRすることができた。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	10,177,661	11,246,467
	人員	1.47	1.8

担当所属	社会文化部生涯学習課	連絡先	23-3175

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：維持管理型

業務活動名	市民センター管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	生涯学習推進計画	基礎事業名	身近な学習拠点の活用
根拠法令要綱	岡崎市市民センター条例、岡崎市市民センター条例施行規則		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）

事業概要

事業概要
市民センターは、生涯学習の地域拠点施設であり、市内に８箇所（中央・南部・南部分館・大平・東部・岩津・矢作・六ツ美）設置されている。昨今の社会・経済の変化に対応していくため、また社会の成熟化に伴い、幅広い年齢の人々に学ぶことの意欲が高まっている。市民センターは、このような学習需要の拡大に応えるために、人々が生涯いつでも自由に学習機会を選択して学習することのできる場として利用されている。主な事業としては、初心者を対象に、文化・教養の向上や健康の増進、趣味などについて学ぶ定期講座、現代的課題や生活のための課題などを学ぶ市民講座、市民が自主的に講座を開設し学ぶ自主講座などが実施されている。また、市民センターは、企業等の会議の会場となる等、一般利用にも供されている。また、地域図書室の機能も有しており、収蔵図書の閲覧・貸出・返却のほか、中央図書館や他の地域図書室で借りた図書の返却や貸出予約した図書の受取りもできる。そのような市民センターを、市民が快適に利用できるよう運営するために、必要な業務を実施する。

対象
市民センター利用者

手段
定期講座、市民講座、自主講座などの各種講座の会場等の提供及び、図書の貸出・返却を行う。

意図・成果
利用者にとって良好な学習環境を維持することにより、市民の生涯学習意欲を高め、新たな生きがいにつなげる。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	市民センター利用者数 単位：人	目標値（予測値）	155,000	140,333	162,442
		実績値	140,333	162,442	
		達成度（%）	91	116	
	自主講座開設団体数 単位：団体	目標値（予測値）	-		
		実績値			
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準	前年度同様に利用者にとって良好な学習環境を提供し、目標となる利用者数を達成できるよう計画的に管理運営を行う。			
	2021年度達成結果	施設の運営及び管理について、設備の保全と安全の確保、利便性の維持が達成できている。前年度と比較し、利用者数は大きく増加したが、目標値を下回った。			
	2022年度達成基準	利用者にとって良好な学習環境を提供し、かつ、一般利用の拡大により、目標となる利用者数を達成できるよう計画的にな管理運営を行う。			
	2022年度達成結果	利用者にとって良好な学習環境を提供し、かつ、一般利用の拡大により、目標となる利用者数を達成できるよう計画的にな管理運営を行う。			
	2023年度達成基準	施設の運営及び管理について、設備の保全と安全の確保、利便性の維持が達成できている。利用者数は目標値を上回った。			
指標分析	令和２年度に中止していた定期講座、市民講座等を再開し、利用者が増加した。その他の利用についても、前年度と比較し、増加した。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	49,374,980	57,208,031
	人員	32.74	2.4

担当所属	社会文化部生涯学習課	連絡先	25-3252

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	市民センター講座開催		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	生涯学習推進計画	基礎事業名	身近な学習拠点の活用
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）

事業概要

事業概要
市民が気軽に生涯学習活動に親しみながら、新しい知識を得たり、教養を高めたり、また、スポーツやレクリエーションを楽しみながら、地域の交流を深め、地域の一員として充実した生活を送るための学習機会のきっかけづくりとして、初心者を対象に１年通して学習する定期講座を提供する。また、短期間で効果的に学ぶ講座として市民講座を提供する。生涯学習への参加機会を確保することで、市民の「学びたい」というニーズに対応して、生涯にわたり学習できる環境を実現する。

対象
市内在住在勤在学の方

手段
定期講座については、市政だより、ホームページ、チラシ等で受講者を募集し、５月後半から翌年３月末にかけて、10回又は18回の講座を行う。市民講座については、開催の都度、市政だより、ホームページ等で受講者を募集し、講座を開催する。
◆定期講座開催実績
　令和２年度　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施
　令和３年度　85講座　1,117回
　令和４年度　86講座　1,156回
◆市民講座開催実績
　令和２年度　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施
　令和３年度　37講座　105回
　令和４年度　58講座　120回

意図・成果
気軽に参加できる講座を開催することにより、生きがいづくりや地域での交流、また社会への参加のきっかけが提供できている。また、主に定期講座修了者がさらに深く学ぶために、自発的に自主講座を立ち上げ、市民主導の生涯学習活動へ発展している。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	講座数 単位：講座	目標値（予測値）	120	120	100
		実績値	122	144	
		達成度（%）	102	120	
	各種講座受講者数 単位：人	目標値（予測値）	-	16,000	12,300
		実績値	16,060	17,802	
		達成度（%）	-	111	
定性指標	2021年度達成基準	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとりながら、市民に学びの機会を提供する。			
	2021年度達成結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとりながら、市民に学びの機会を提供することが出来た。			
	2022年度達成基準	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとりながら、市民に学びの機会を提供する。			
	2022年度達成結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとりながら、市民に学びの機会を提供することが出来た。			
	2023年度達成基準	昨年度の受講者アンケートの結果を参考にし、市民ニーズを捉えた講座内容により、市民に学びの機会を提供する。			
指標分析	適切な新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとることで、多くの市民に学びの機会を提供することが出来た。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	8,096,392	8,238,321
	人員	7.77	1.25

担当所属	社会文化部生涯学習課	連絡先	23-3110

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	周辺駐車場利用料金負担		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	生涯学習推進計画	基礎事業名	生涯学習拠点による学びの形の創造
根拠法令要綱	-		
事業期間	2008　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）

事業概要

事業概要
図書館交流プラザ建設前より民間運営の駐車場が施設の周辺に存在していた。そのため、民業を圧迫をしないように、また、中心市街地全体で駐車場台数を考慮することにより新たな駐車場の整備を行わないことが考えられた。図書館交流プラザ利用者が、市が提携する周辺駐車場を利用したときの料金を図書館交流プラザ管理の駐車場と同じく２時間以内を無料にするため、利用者に代わって市が２時間分の利用料を負担している。

対象
施設利用者で市が提携する３箇所の周辺駐車場の利用者

手段
施設利用者が提携駐車場を利用したサービス時間分の料金の支払い＜当初予算＞※直近過去６年　平成29年度　3,492,000円、平成30年度　3,144,000円、平成31年度　2,988,000円、令和2年度　2,724,000円（補正後3,024,000円）、令和3年度　3,000,000円、令和４年度　3,000,000円（補正後3,051,400円）

意図・成果
渋滞の緩和、施設利用者の利便性向上＜実績＞※直近過去６年平成29年度　6,920台　2,388,650円、平成30年度　7,087台　2,391,400円、平成31年度　7,706台　2,598,100円、令和2年度　8,749台　2,987,650円、令和3年度　7,682台　2,613,100円、令和４年度　9,099台　3,051,400円

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	対象駐車場数 単位：箇所	目標値（予測値）	3	3	
		実績値	3	2	
		達成度（%）	100	67	
	利用料金負担対象車両数 単位：台	目標値（予測値）	-		
		実績値			
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準	本業務は渋滞の緩和及び施設利用者の利便性を図るものであり、引き続き同程度の数値を目標とする。			
	2021年度達成結果	駐車場の入口に警備員を配置し、駐車場利用者が多い日には提携駐車場を案内することにより施設周辺の渋滞緩和及び施設利用者の利便性を図ることができた。			
	2022年度達成基準	本業務は渋滞の緩和及び施設利用者の利便性を図るものであり、引き続き同程度の数値を目標とする。			
	2022年度達成結果	提携駐車場を利用してもらうことで施設周辺の渋滞緩和及び施設利用者の利便性を図ることができた。2022年度３月に、提携をしていた岡崎公園駐車場の管理者から、提携解除の通知があり提携駐車場数が３から２か所になった。			
	2023年度達成基準				
指標分析	前年度と比較し利用は増加したが、2022年度末に提携駐車場の箇所数が減少した。				

コスト	2021年度決算	2022年度決算
事業費等(円)	2,613,100	3,051,400
人員	0.06	0.1

担当所属	社会文化部生涯学習課	連絡先	23-3252

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：維持管理型

業務活動名	図書館交流プラザ管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	生涯学習推進計画	基礎事業名	生涯学習拠点による学びの形の創造
根拠法令要綱	岡崎市図書館交流プラザ条例、岡崎市図書館交流プラザ条例施行規則		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）

事業概要

事業概要
市民が自ら学ぶ、岡崎の知的活動拠点として「図書館・活動支援・文化創造・交流」の4つの機能を併せ持つ複合施設である図書館交流プラザをより多くの市民に利用していただけるよう快適な環境を整備し、利便性を確保するため設備総合保守管理、清掃、警備、受付案内、植栽管理、舞台音響照明管理、機械警備等施設の管理及び運営に関わる業務及び事務を執り進めている。

対象
図書館交流プラザの施設利用者

手段
図書館交流プラザの管理及び運営の業務委託（設備総合保守管理、清掃、警備、機械警備業務、受付案内、舞台音響照明管理、植栽管理業務など）

意図・成果
施設の効率的かつ利便性、衛生の保全、安全安心性を高める管理運営を図り、多くの方に施設を利用していただく。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	図書館交流プラザ入館者数 単位：人	目標値（予測値）	1,051,000	1,145,295	1,252,598
		実績値	1,145,295	1,252,598	
		達成度（%）	109	109	
	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準	多くの市民に利用される施設として、魅力ある催しや快適な空間を提供する。			
	2021年度達成結果	多くの市民に利用される施設として、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施しながら、快適な空間を提供することができた。			
	2022年度達成基準	引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施しながら、昨年度の来館者数と同程度の数値を目標とする。			
	2022年度達成結果	多くの市民に利用される施設として、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施しながら、快適な空間を提供することができた。			
	2023年度達成基準	多くの市民に利用される施設として、魅力ある催しや快適な空間を提供する。			
指標分析	ほとんどの月で前年度と比較し、来館者が増加している。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	390,345,664	409,369,195
	人員	5.8	4.2

担当所属	社会文化部生涯学習課	連絡先	23-3252

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	ブックスタート実施		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	生涯学習推進計画、子ども読書活動推進計画	基礎事業名	知的活動と創造的文化活動の支援
根拠法令要綱	子ども読書活動の推進に関する法律		
事業期間	2010　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）

事業概要

事業概要
赤ちゃんは、愛情に満ちた「ことば」を語りかけられることで、自分がとても愛され、大切にされていることを感じ、心健やかに育つと言われている。ブックスタート事業は、親子が「ことば」を通したあたたかな時間をわかちあうきっかけづくりとして、この地域に生まれたすべての赤ちゃんと保護者に、絵本を開く体験と一緒に絵本を手渡す活動である。岡崎市の未来を担う子どもたちの豊かな心づくりのため、また、子育てを応援するまちづくりのため、ブックスタート事業を実施する。

対象
生後４か月以上２年未満の乳幼児及びその保護者で、事業実施時に本市に在住する者（ただし、本市以外の自治体でブックスタート等のサービスを受けた者は除く）。

手段
乳幼児を対象として、読み聞かせ及び絵本の手渡しを行う。絵本の読み聞かせをしながら、親子で一つの絵本を共有する時間の楽しさや大切さを伝える。対象者に手渡すブックスタートパックには、絵本１冊、アドバイスブックレット、絵本リスト、図書館の利用案内、子育て支援に関する文書等を入れる。さらなる体制の整備を図るため、ブックスタートボランティア養成講座を実施し、ボランティアの育成を行う。

意図・成果
乳幼児と保護者が、絵本を介してゆっくり心ふれあうひとときを持つきっかけをつくる。子どもの読書活動が活発となり、より深く、豊かに生きるための手段としての読書を身につけることに繋がる。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	ブックスタート実施者数 単位：人	目標値（予測値）	3,172	3,257	3,200
		実績値	3,115	3,078	
		達成度（%）	98	95	
	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準				
	2021年度達成結果				
	2022年度達成基準				
	2022年度達成結果				
	2023年度達成基準				
指標分析	コロナ禍による図書館離れの影響もあってか、図書館での実施数が伸びなかった。出生数は低下しているが着実にブックスタートを実施している。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	2,252,594	2,233,178
	人員	2.65	2.15

担当所属	中央図書館	連絡先	23-3115

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	岡崎むかし館運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	生涯学習推進計画	基礎事業名	生涯学習拠点による学びの形の創造
根拠法令要綱	-		
事業期間	2008　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）

事業概要

事業概要
生涯学習施設として、市の歴史や生活文化を通史で学べる常設展示を実施するとともに、所蔵している資料を活用した企画展を実施することにより、公開の機会が少ない資料を有効活用する。市の歴史・生活文化を広く紹介することにより、地域を学ぶきっかけとなり、生涯学習への導入となる。学校・学習支援として、総合学習や社会科授業における体験活動に役立つ資料を展示し、社会科授業で必要に応じた資料の貸出をする。市の地域文化を語るうえでの必要不可欠な資料として収集したものを展示・保管する。

対象
市民、小中学生、岡崎の歴史や文化に興味のあるかた

手段
常設展示では、地域に伝わる伝承や祭り、人々の暮らしの移り変わり、郷土の偉人の功績などを紹介し、地域の再発見に結びつく展示を実施する。企画展では、郷土の暮らし、遊び、学びなどをテーマにし、郷土学習にも活用可能な展示を実施する。りぶら映像アーカイブスを運用して郷土の古い映像資料を提供する。学校・学習支援として、むかし館見学の受け入れ、資料セットの貸し出しを実施する。ただし、新型コロナウイルス感染防止のため、愛知県を対象地域とした緊急事態宣言やまん延防止措置が発令された期間は見学受け入れを停止する。また、小中学校社会科自由研究支援として、夏休み期間中の学習相談会を今年度より再開する。

意図・成果
様々な展示物は高齢者には懐かしく若い世代には珍しく映り、見たり触ったりすることで暮らしの移り変わりを知ることができる。壁面の岡崎市の歴史や郷土の偉人の功績などの展示は、りぶらを訪れる市内外の利用者に直接的に岡崎市をＰＲする場となっている。むかし館での展示や活動により、小中学校の総合学習や社会科学習を支援し、郷土資料に対する関心や郷土学習への導きの場となる。市の歴史・文化に対する興味や関心を引き起こすことで、学校・学習支援や生涯学習への導入となる。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	岡崎むかし館入館者数 単位：人	目標値（予測値）	70,000	80,000	80,000
		実績値	73,911	86,990	
		達成度（%）	106	109	
	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準				
	2021年度達成結果				
	2022年度達成基準				
	2022年度達成結果				
	2023年度達成基準				
指標分析	小学校社会科見学、定例イベント（むかし遊びやむかし話）は、コロナの影響で中止期間があったが、魅力ある企画展の開催や規制緩和期間のイベント開催、見学受入れなどにより入館者数は一定数を維持することができた。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	998,311	1,318,549
	人員	1.47	1.12

担当所属	中央図書館	連絡先	23-3167

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	各種講座開催		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	生涯学習推進計画、子ども読書活動推進計画	基礎事業名	知的活動と創造的文化活動の支援
根拠法令要綱	図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）

事業概要

事業概要
図書館講座の開催は図書館法第３条「図書館奉仕」の一つで、市民の学ぶ意欲を助長したり、図書館の活動を理解してもらうため、独自性のある講座を開催する。ボランティア養成講座については、受講後、希望者にボランティア登録をしてもらい、図書館ボランティアとして、読み聞かせ、ストーリーテリング、ブックスタート、本の修理、対面朗読、古文書翻刻などの活動に参加してもらう。そのほかの講座については多様な学習機会の提供を通じ、図書館の利用を促す。

対象
主に市民

手段
講座の企画、講師の依頼、会場の手配、参加者の募集をする。

意図・成果
参加者に図書館運営が理解され、一般市民のボランティア参加を促し、市民と協働した図書館運営が図られる。読み聞かせ、ブックスタート、図書資料修理、図書館まつりなどではたくさんのボランティアが活動しており、図書館サービスの充実を図るためにはボランティアの養成は不可欠である。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	各種講座受講実人数 単位：人	目標値（予測値）		90	50
		実績値	18	66	
		達成度（%）	-	73	
	ボランティア登録者数 単位：人	目標値（予測値）	274	284	290
		実績値	254	270	
		達成度（%）	93	95	
定性指標	2021年度達成基準				
	2021年度達成結果				
	2022年度達成基準				
	2022年度達成結果				
	2023年度達成基準				
指標分析	特別展示連携講座「正しく知ろう！乳がんのこと」を開催し、21名の参加があった。ボランティア養成講座をコロナ禍ということで定員を絞って再開した。退会されたかたも多く、図書館が多様なサービスを維持していくために継続的にボランティア養成の講座は必要である。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	0	64,000
	人員	0.2	0.66

担当所属	中央図書館	連絡先	23-3115

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：維持管理型

業務活動名	額田図書館管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	生涯学習推進計画、子ども読書活動推進計画	基礎事業名	知的活動と創造的文化活動の支援
根拠法令要綱	社会教育法及び図書館法、岡崎市立図書館条例、岡崎市立図書館管理規則、子どもの読書活動の推進に関する法律、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）

事業概要

事業概要
平成18年に額田町との合併により岡崎市立額田図書館（分館）となった。平成30年２月の額田センター内への移転にともない、施設規模が縮小したが、分館の機能を維持しつつ、図書館サービスを実施し、市民に広く利用されている。月に２回、おはなしコーナーにて絵本や紙芝居による読み聞かせを開催しており、子どもたちに本の世界の楽しさ、豊かさを伝えている。平成27年度から２か月に１回ブックスタートを実施している。

対象
市民及び愛知県内在住、在勤、在学者

手段
・貸出・返却処理など窓口サービスを業務委託し、効率的な運営をする。・図書資料を選定、購入し、図書の充実を図る。・図書館システムを運用する。・中央図書館との物流を確保する。・委託業者と月1回会議を開催し、本館同様のサービス提供の認識を図り、また現場の状況を把握する。・書架整理や蔵書点検を行い、利用しやすい環境を提供する。・定期的にぬかた便りを作成し、情報提供をする。

意図・成果
分館として額田地区の利用者へ図書館サービスを提供する。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	額田図書館貸出者数 単位：人	目標値（予測値）	10,000	12,000	12,000
		実績値	11,267	11,181	
		達成度（%）	113	93	
	額田図書館貸出点数 単位：点	目標値（予測値）	50,000	53,000	52,000
		実績値	52,503	50,221	
		達成度（%）	105	95	
定性指標	2021年度達成基準				
	2021年度達成結果				
	2022年度達成基準				
	2022年度達成結果				
	2023年度達成基準				
指標分析	貸出冊数、貸出人数共に昨年度から微減となった。コロナ前と水準的には近い実績となっているが、微減傾向にあるため図書館の利用促進を図る必要がある。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	11,831,885	13,059,476
	人員	1.1	0.94

担当所属	中央図書館	連絡先	23-3115

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	児童読書活動支援		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	生涯学習推進計画、子ども読書活動推進計画	基礎事業名	知的活動と創造的文化活動の支援
根拠法令要綱	図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律		
事業期間	2013　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）

事業概要

事業概要
図書館法第３条で図書館の業務として「学校教育を援助し」と定められている。学校の読書活動を支援していた自動車文庫は平成24年度で業務を終了したが、多くの学校から資料提供支援の要望があるため、代替業務として実施しているものである。朝の読書時間や各学校における教科学習、総合的な学習の時間等の教育活動を支援するとともに、児童の読書活動を推進するために行う。令和２年度から未就学児支援にも取り組む。

対象
市内公立保育園等、市内全公立小・中学校等の児童、生徒及び教員

手段
・図書のセット組み、貸出及び返却業務、配送業務を委託し、効率的な運営を図る。

意図・成果
保育園等を通じて未就学児に対する読書活動支援を行う。学校図書館にはない資料を提供できること、また、学級文庫の図書を定期的に入れ替えることによって、児童の読書欲が満たされる。一人では図書館まで行くことのできない子どもたちが、定期的に図書館の資料を利用することで、読書の楽しさを知るきっかけができ、読書習慣を身につけることができる。授業支援用の資料を提供することにより、児童が授業での学習を深め、教員の教育上のサポートをする。図書館の資料を手にすることにより、図書館を身近に感じ、図書館利用者を育てることにつながる。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	資料貸出点数 単位：点	目標値（予測値）	107,000	88,725	86,815
		実績値	86,546	88,536	
		達成度（%）	81	100	
	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準				
	2021年度達成結果				
	2022年度達成基準				
	2022年度達成結果				
	2023年度達成基準				
指標分析	貸出点数の内訳はセット貸出（保育園や学級数等による定数配送）と授業支援（先生依頼による随時配送）で、令和４年度のセット貸出は学校希望によるコンテナ数増加による貸出冊数微増。授業支援の貸出冊数も申込件数が前年度より増加。（R3年度：3,041冊、R4年度：3,811冊）。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	16,570,514	20,750,967
	人員	1.3	1.15

担当所属	中央図書館	連絡先	23-3115

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	地域図書室サービス支援		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	生涯学習推進計画、子ども読書活動推進計画	基礎事業名	知的活動と創造的文化活動の支援
根拠法令要綱	図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）

事業概要

事業概要
地域図書室は図書館法第3条5項の「分館、閲覧所、配本所等を設置し」という規定から定められており、同条文で図書館は設置に努めなければならないとされている。当市では昭和46年に明大寺町に新図書館開館後、昭和52年より市民センターへの配本が開始された。現在７箇所ある全ての市民センターに図書室（地域図書室）が設置されており、地域住民の読書環境の場として図書サービスポイントの役割を果たしている。また、中央図書館と共通のシステムで資料を管理し、物流による資料の運搬を行うことで利便性の向上に努めている。地域図書室の中で最大の利用者数を誇る南部市民センター図書室は、平成14年にシビックセンター内移転に伴い図書室運営を業務委託とし、読み聞かせコーナーでは定期的におはなし会も開催している。また、平成27年度から2か月に1回ブックスタートを実施している。他に、岩津市民センターでは平成17年、矢作市民センターでは平成20年にそれぞれ支所移転後におはなしスペース設置、六ツ美市民センターでは平成31年に第１会議室を子ども図書室に改装し図書室の充実を図っている。

対象
市民及び愛知県内在住、在勤、在学者。

手段
中央図書館と共通のシステムで資料を管理し図書室運営を支援。中央図書館と地域図書室間の予約資料等の定期配送業務や南部市民センター図書室の窓口サービスの業務を委託。地域図書室で読み聞かせを開催するため、活動ボランティア団体を支援。

意図・成果
地域図書室の資料を充実することで地域の読書環境が整備され、交通手段を持たない子どもや高齢者が図書館サービスを受けることができる。また市内の図書館ネットワークを整備することで予約資料の受取、所蔵館以外での返却等が容易にできるようになるため、利便性が向上する。また、地域図書室での読み聞かせ活動に関しては、当市の子ども読書活動を推進する上で重要な取組事業となっている。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	地域図書室貸出者数 単位：人	目標値（予測値）	100,000	109,000	112,000
		実績値	108,541	111,166	
		達成度（%）	109	102	
	地域図書室貸出者数（０～１５歳） 単位：人	目標値（予測値）	17,000	19,600	21,000
		実績値	20,202	20,249	
		達成度（%）	119	103	
定性指標	2021年度達成基準				
	2021年度達成結果				
	2022年度達成基準				
	2022年度達成結果				
	2023年度達成基準				
指標分析	コロナ禍の影響で地域図書室の利用者は減少していたが、社会情勢の変化とともに利用者も徐々に戻りつつある。近年は15歳以下の利用が伸びている。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	25,567,468	30,856,431
	人員	2.35	2.88

担当所属	中央図書館	連絡先	23-3115

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：維持管理型

業務活動名	中央図書館管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	生涯学習推進計画、子ども読書活動推進計画	基礎事業名	知的活動と創造的文化活動の支援
根拠法令要綱	社会教育法及び図書館法、岡崎市立図書館条例、岡崎市立図書館管理規則、子どもの読書活動の推進に関する法律、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）

事業概要

事業概要
複合施設図書館交流プラザの中核機能として収蔵能力が１００万冊ある。自動化書庫、自動仕分け機等の導入により業務の迅速化と効率化を図る。図書館システム運営のため、端末の賃借、システム保守を行う。市民からの様々な知的要求に応えるため、適切な資料を収集し、提供する。子どもにとって充実した読書環境となるよう、資料の充実と提供、子どもが楽しめるイベント等の事業を実施する。図書館利用者の学習、研究及び調査の求めに応じて必要な情報や参考資料等を提供する支援業務、利用者の課題ごとに書誌や索引など提供した内容を整理する業務を行う。ハンディキャップを持つ図書館利用者に各種資料の提供、郵送貸出及び対面朗読サービスを行う。ニーズの多様化に対応できる資料体系の整備を行い、情報提供する。

対象
市民並びに愛知県内在住、在勤又は在学者はじめすべての図書館利用者

手段
・中央図書館設備の保守点検、設備機器等の維持管理・業務システム用機器の賃借、電算消耗品の購入、システムの修正、保守委託・図書館資料の選定、購入、書誌・所蔵データ登録、受入、装備、提供、利用者登録・児童向けの読み聞かせ、各種イベントの実施、読書通帳機の運営・データベース資料利用の拡充、他図書館との相互貸借制度の積極的運用・録音図書の購入及び郵送貸出業務・郷土、地域資料をデジタルアーカイブ化及び整理・雑誌スポンサーなど自主財源の確保

意図・成果
図書館業務の円滑な推進と利用者の利便性の向上を図る。具体的には、市民が必要とする資料を入手できるよう蔵書を充実させ、貸出返却サービス、予約サービスなど各種サービスの迅速な支援等を図る。結果、利用者に対するサービスが的確であり、また、利用者の満足度が得られるようにしていく。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	図書館入館者数 単位：人	目標値（予測値）	700,000	1,000,000	1,000,000
		実績値	842,986	876,446	
		達成度（%）	120	88	
	図書貸出冊数 単位：点	目標値（予測値）	1,350,000	1,500,000	1,500,000
		実績値	1,501,186	1,430,014	
		達成度（%）	111	95	
定性指標	2021年度達成基準				
	2021年度達成結果				
	2022年度達成基準				
	2022年度達成結果				
	2023年度達成基準				
指標分析	コロナ対策での図書館利用制限も段階的に緩和しているため、令和4年度は令和3年度より貸出冊数が大きく増えると見込んでいたが、実際には令和3年度より減少した。また、入館者数についても令和3年度から大きく伸びておらず、目標である100万人には届かなかった。 その要因であるが、令和２年度、令和３年度は外出制限、長時間利用を控えてもらうなど図書館としても滞在を控えるような動きを取り、入館者数が大きく落ち込んだ。そうしたコロナ対策を行っている間に、図書館を日常的に利用していた層が新たな生活様式を確立したことで、コロナ対策緩和後も図書館に戻らず、利用実績の回復に結びつかないのではと考えている。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	281,264,937	279,798,819
	人員	22.7	19.33

担当所属	中央図書館	連絡先	23-3111

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	市史料叢書出版		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	歴史文化の継承と活用
根拠法令要綱	岡崎市史料叢書出版事業編集委員会設置要綱		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）

事業概要

事業概要
・岡崎市の歴史を伝える資料を翻刻し、叢書として出版する事業。本事業は市史編纂事業のなかで収録できなかった資料、さらには市史編纂事業後に新出したもののなかから、歴史的価値の高い資料をまとめて翻刻、活字化して出版するものである。
・平成29年度、瀧山寺文書上巻刊行。
・平成30年度、瀧山寺文書下巻刊行。
・令和元年度、町方文書翻刻作業。
・令和２年度、町方文書翻刻作業。
・令和3年度、町方文書翻刻作業。
・令和４年度、岡崎町方文書刊行。

対象
・地域の歴史、文化などに興味、関心を持ち、学習したり調査研究に取り組んでいる市民等。

手段
・岡崎古文書研究会などによる史料の翻刻、解読、叢書の原稿作製。
・市政だより及びチラシ、雑誌広告によるPRを行い、瀧山寺文書、大樹寺文書等の出版物の販売を行う。
・令和４年度に岡崎町方文書の発刊を目指し、刊行作業を進める。

意図・成果
・市民等が地域の歴史、文化に興味を持ち地域に対する意識が高まるとともに、市民等の調査研究者への歴史、文化に関する情報提供に供することができる。
・散逸または劣化する歴史資料を記録保存できる。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	史料叢書売上冊数 単位：冊	目標値（予測値）	20	20	20
		実績値	34	11	
		達成度（%）	170	55	
	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準	令和３年度も更に歴史的価値の高い文書を選定し、史料翻刻と入力原稿の作成を進める。			
	2021年度達成結果	令和3年度は令和2年度に引き続き史料翻刻と入力原稿の作成を進めることができた。			
	2022年度達成基準	令和4年度は「岡崎町方文書」を刊行し、貴重な地域の歴史資料を多くの方に知っていただく。			
	2022年度達成結果	「岡崎町方文書」を刊行し、地域の歴史資料を多くの方に知っていただく機会を提供できた。			
	2023年度達成基準	次期刊行に向けて、引き続き史料翻刻と入力原稿の作成を進める。			
指標分析	原稿入稿、校正などスケジュール管理を行い、予定どおり「岡崎町方文書」を刊行することができた。また、令和５年度も前年度と同様、目標値を20冊とした。貴重な地域の歴史資料であるため継続的にＰＲしていきたい。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	224,670	2,064,444
	人員	0.65	1.1

担当所属	美術博物館	連絡先	28-5002

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	展示備品整備		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化芸術の振興
根拠法令要綱	岡崎市美術品等収集委員会設置要綱、岡崎市博物資料収集委員会設置要綱		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）

事業概要

事業概要
・資料の収集活動は、美術博物館の基本活動である公開展示や調査研究・教育普及を支える重要な活動であり、質の高いより多くの所蔵品を有することにより、市民の文化芸術享受の機会を増やす。
・収集された優れた芸術作品及び貴重な歴史資料は、収蔵庫の良好な環境の中で保管・保存することにより、経年劣化や火災等での滅失を防ぎ、後世への永年保存を図る。

対象
・芸術鑑賞や文化的教養の享受に意欲をもつ市民
・美術や歴史の調査研究などに取り組む市民等

手段
・購入・寄託・寄附の受入れ区分により、貴重な資料等の収集を図る。
・芸術、歴史資料のもつ価値を客観的に把握するため、各分野の学識経験者で組織する「岡崎市美術品等収集委員会」、「岡崎市博物資料収集委員会」に諮問して、受入れの可否を決定する。
・貴重な資料購入費を計上し、寄託や寄附と合わせ収蔵品収集の充実を図る。

意図・成果
・収集資料を展示により一般公開し、美術品・博物資料に接する機会を提供する。
・収蔵資料の調査研究を行い、情報の蓄積を行うことにより、市民の学習・調査研究などのニーズに対応する。
・令和3年度の収集資料は136点で、内訳は購入11点、寄附78点、寄託47点であり、寄附資料及び寄託資料は個人からの受入である。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	美術・博物資料の収集保存点数 単位：点	目標値（予測値）	100	100	100
		実績値	136	27	
		達成度（%）	136	27	
	収集委員会の開催回数 単位：回	目標値（予測値）	-	2	2
		実績値	2	2	
		達成度（%）	-	100	
定性指標	2021年度達成基準	令和３年度収集委員会（美術品等・博物資料）の開催回数：２回			
	2021年度達成結果	収集委員会を予定通り開催し、良質な芸術、歴史資料等を受け入れることができた。			
	2022年度達成基準	令和4年度収集委員会（美術品等・博物資料）の開催回数：２回			
	2022年度達成結果	工事期間中に収蔵庫への立ち入りができなかったため、資料の受入れを一部制限したが、収集委員会を開催し、良質な芸術、歴史資料等を受け入れることができた。			
	2023年度達成基準	令和５年度収集委員会（美術品等・博物資料）の開催回数：２回			
指標分析	令和４年度の収集資料点数は目標より下回ったが、資料等の収集活動は、市民からの寄託・寄附の申し出によるもので、寄附・寄託者の状況により収集資料の数に変動がある。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	837,602	3,822,460
	人員	1.5	1.3

担当所属	美術博物館	連絡先	28-5002

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：維持管理型

業務活動名	美術博物館管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化を支える基盤づくり
根拠法令要綱	岡崎市美術博物館条例、岡崎市美術博物館管理規則		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）

事業概要

事業概要
・美術博物館は、市民に優れた芸術・歴史資料の鑑賞と学習の場を提供し、歴史資料を良好な環境で保存し、資料等の劣化と滅失の防止を図ることを目的として、博物館法に定める施設として平成８年７月に建設された。
・建設に際しては、第１期工事の収蔵庫棟と第２期工事の本館棟の分割建設で進められ、現在は収蔵庫棟内の展示室を活用して、年間５本程度の展覧会を開催している他、「やさしいミュージアム講座」、展覧会関連講座を実施している。
・市民生活が多様化するなか、芸術鑑賞、歴史文化の学習など、様々な文化的活動に参加したいという市民の要望に対応する必要がある。

対象
・芸術鑑賞及び歴史文化の学習等、様々な文化的活動に参加意欲を持っている市民
・美術系、博物系に係る資料等の調査研究に取り組んでいる市民等

手段
・施設の適正な維持管理のもと、美術博物館の運営を行う。
・美術博物館協議会を開催し、企画展等に関する意見をいただき、適正な運営を図る。
・研究紀要及び機関誌（アルカディア：年４回）の発刊により、館のＰＲを図る。
・美術資料、歴史資料の調査研究を行う。
・美術博物館の収蔵庫機能、展示施設機能を維持するため、施設・設備の保全を図る。
・美術博物館の改修を行う（令和４年度）。

意図・成果
・施設の適正な維持管理のもと、様々な企画展を開催し、入場者の増加を図る。
・広範な芸術文化を享受できる機会を提供するとともに、美術博物館が開設する講座等のニーズを把握し、様々な文化活動に多くの市民が参加できる機会を提供する。
・建物に付随する機器等の適正な維持管理整備を図り、美術博物館の収蔵庫機能、展示施設機能を中期にわたって維持する。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	美術博物館入場者数 単位：人	目標値（予測値）	43,000	20,000	42,000
		実績値	68,089	12,888	
		達成度（%）	158	64	
	展覧会関連の講座等参加者数 単位：人	目標値（予測値）	-	230	850
		実績値	2,113	223	
		達成度（%）	-	97	
定性指標	2021年度達成基準	施設・設備の適正な維持管理を行い、来館者の安全性と快適性を確保するとともに、展示のために借用した資料、所蔵品等を良好な環境で展示・保管する。			
	2021年度達成結果	施設・設備の適正な維持管理を行い、来館者の安全性と快適性を確保するとともに、展示のために借用した資料、所蔵品等を良好な環境で展示・保管することができた。			
	2022年度達成基準	施設・設備の適正な維持管理を行い、来館者の安全性と快適性を確保するとともに、展示のために借用した資料、所蔵品等を良好な環境で展示・保管する。			
	2022年度達成結果	施設・設備の適正な維持管理を行い、来館者の安全性と快適性を確保するとともに、展示のために借用した資料、所蔵品等を良好な環境で展示・保管することができた。			
	2023年度達成基準	施設・設備の適正な維持管理を行い、来館者の安全性と快適性を確保するとともに、展示のために借用した資料、所蔵品等を良好な環境で展示・保管する。			
指標分析	新型コロナウイルス感染症の状況により、入場者数は大きく左右されるが、感染対策を十分施したうえで安全な開催に努めた。なお、９月以降は改修工事を実施した。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	148,909,158	895,505,314
	人員	5.85	5.41

担当所属	美術博物館	連絡先	28-5001

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	美術博物館企画展		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化芸術の振興
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）

事業概要

事業概要
・美術博物館は、市民に優れた芸術・歴史資料の鑑賞と学習の場を提供し、歴史資料を良好な環境で保存し、資料等の劣化と滅失の防止を図ることを目的として、博物館法に定める施設として平成８年７月に建設された。
・建設に際しては、第１期工事の収蔵庫棟と第２期工事の本館棟の分割建設で進められ、現在は収蔵庫棟内の展示室を活用して、年間５本程度の展覧会を開催している他、「やさしいミュージアム講座」、展覧会関連講座を実施している。
・市民生活が多様化するなか、芸術鑑賞、歴史文化の学習など、様々な文化活動に参加したいという市民の要望に対応する必要がある。

対象
・芸術鑑賞及び歴史文化の学習等、様々な文化活動に参加意欲を持っている市民
・美術系、博物系に係る資料等の調査研究に取り組んでいる市民等

手段
・令和４年度実施の展覧会の期間及び入場者数
収蔵品展　名取春仙　役者を描く　　4/ ９～ 5/１５（３２日間）　２,５９９人
企画展　北澤美術館所蔵　ルネ・ラリックーアール・デコのガラス　モダン・エレガンスの美　６/４～ ８/２８（７４日間）　　１０,２８９人

意図・成果
・施設の適正な維持管理のもと、様々な企画展を開催し、入場者の増加を図る。
・市民ニーズを把握し、講演会や講座等、様々な文化活動に多くの市民が参加する機会を提供する。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	美術博物館入場者数 単位：人	目標値（予測値）	43,000	20,000	42,000
		実績値	68,089	12,888	
		達成度（%）	158	64	
	展覧会関連の講座等参加者数 単位：人	目標値（予測値）	-	230	850
		実績値	2,113	223	
		達成度（%）	-	97	
定性指標	2021年度達成基準	令和３年度も43,000人を目標とし、岩合光昭写真展、渡辺省亭の花鳥画、水木しげるの漫画展、市内の文化財を一堂に集めた展覧会など幅広い分野の展覧会を企画し、市民満足度の高い展覧会を実施する。			
	2021年度達成結果	目標を大きく上回る68,089人の入場者があった。			
	2022年度達成基準	令和４年度は９月から改修工事で休館となり、展覧会の開催は２本のみとなるため、入場者数20，000人を目標とし、市民満足度の高い展覧会を実施する。			
	2022年度達成結果	目標数は達成できなかったが、幅広い年代の方に満足いただける展覧会を実施できた。			
	2023年度達成基準	ＮＨＫ大河ドラマ特別展「どうする家康」を始め、幅広い分野の展覧会を企画し、市民満足度の高い展覧会を実施する。			
指標分析	新型コロナウイルス感染症の状況により、入場者数は大きく左右されたが、感染対策を十分施したうえで安全な開催に努め、問題なく開催することができた。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	107,003,168	44,746,979
	人員	5.45	5

担当所属	美術博物館	連絡先	28-5002

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	親子造形センター運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化を支える基盤づくり
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（全部委託）

事業概要

事業概要
「おかざき世界子ども美術博物館」の教育機能と連動させ、誰でも気軽に創作活動が行えるように制作の指導をすることで、創作活動を通して、親と子の心のふれあいや、子ども同士の友情を深める機会を提供する。

対象
市民等（主に子どもとその親）

手段
　親子造形センター運営を委託することにより、事業を実施する。委託内容については、気軽に創作活動ができる4つの教室（絵画教室、粘土教室、工作教室、ＥＢアート教室）等を運営し、制作活動の指導を行う。企画展とのコラボ企画や季節行事等にあわせ、テーマを決めて創作活動を指導する特別教室を企画実施する。

意図・成果
　親子教室やテーマ毎の特別教室の運営により参加者が創作活動の素晴らしさを体験し、芸術文化への関心を持ち楽しむ人が増える。また、親子や友だちと創作活動を実施することにより親子のふれあいや子ども同士の友情を深めることができる。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	親子造形センター利用者数 単位：人	目標値（予測値）	72,000	68,000	68,000
		実績値	66,195	80,099	
		達成度（%）	92	118	
	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準	-			
	2021年度達成結果	-			
	2022年度達成基準	-			
	2022年度達成結果				
	2023年度達成基準				
指標分析	新型コロナウイルス感染症が沈静化したことを受けて、入館者数が目標値を上回ることができた。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	42,431,400	43,791,000
	人員	0.1	0.3

担当所属	岡崎地域文化広場	連絡先	53-3511

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：維持管理型

業務活動名	地域文化広場管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化を支える基盤づくり
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）

事業概要

事業概要
「おかざき世界子ども美術博物館」を主施設とする岡崎地域文化広場を適切に維持し管理運営を行う。

対象
市民等（来館者）

手段
　施設維持管理のために必要な施設設備（公共建築物、空調設備、トイレ消臭装置、非常通報装置、消防設備、自家用電気工作物、昇降機、遊具）等の保守点検業務はじめ清掃、警備、樹木管理、駐車場整理、くん煙等の委託業務や物品の調達及び施設設備（建物、工作物、機械器具、庁用器具等）の修繕業務を実施する。

意図・成果
来館者が安全に快適に本施設を利用することができる。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	施設入館者数 単位：人	目標値（予測値）	124,800	125,300	125,300
		実績値	131,753	192,918	
		達成度（%）	106	154	
	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準	適切な時期に入札等を実施し業務契約を締結し施設の維持管理を行う。また、予算の範囲内において、適切な時期に計画的に必要な物品を調達し、来館者の利便性の向上を図る。			
	2021年度達成結果	施設の維持管理、物品の調達等、計画通りに執行でき、来館者の利便性を図ることができた。			
	2022年度達成基準	適切な時期に入札等を実施し業務契約を締結し施設の維持管理を行う。また、予算の範囲内において、適切な時期に計画的に必要な物品を調達し、来館者の利便性の向上を図る。			
	2022年度達成結果	施設の維持管理、物品の調達等、計画通りに執行でき、来館者の利便性を図ることができた。			
	2023年度達成基準	適切な時期に入札等を実施し業務契約を締結し施設の維持管理を行う。また、予算の範囲内において、適切な時期に計画的に必要な物品を調達し、来館者の利便性の向上を図る。			
指標分析	施設管理運営事業は通常通り執行され、施設入館者数の目標達成率は154%と目標を上回った。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	60,077,655	113,112,796
	人員	2.15	3.24

担当所属	岡崎地域文化広場	連絡先	53-3511

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	地域文化広場企画展		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化芸術の振興
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）

事業概要

事業概要
「おかざき世界子ども美術博物館」の核となる教育事業。子どもたちが、本物の文化、芸術に触れることで美術への関心を高め、広い視野と豊かな創造力が身に付くような展覧会を実施する。

対象
市民等（来館者、主に子ども）

手段
　芸術、文化の鑑賞機会を提供するため、子どもを対象とした魅力ある企画展を年に５回程度開催する。世界の文化や風習が描かれた子どもたちの絵や世界の有名美術家が１０代の頃に描いたメインコレクション「巨匠たちの10代」作品及び世界各国のおもちゃや民芸品等を常設展示し、また障がいのある子どもたちが制作したアートを紹介する常設展「子どもたちのアール・ブリュット」を開催する。

意図・成果
　多くの子どもたちが来館し、本物の芸術作品を鑑賞する機会を提供することで芸術文化に親しむようになり、関心を持つ子どもたちが増える。親子や友達と鑑賞したり、企画展に参加体験することにより、親と子のふれあいや子ども同士の友情を深めることができる。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	施設入館者数 単位：人	目標値（予測値）	124,800	125,300	125,300
		実績値	131,753	192,918	
		達成度（%）	106	154	
	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準	参加体験型の企画展を含めて年間５回開催するとともに、企画展に関連したイベントも充実させる。			
	2021年度達成結果	参加体験型の企画展を含めて年間５回程度開催するとともに、企画展に関連したワークショップ等のイベントも開催することができた。			
	2022年度達成基準	参加体験型の企画展を含めて年間５回程度開催するとともに、企画展に関連したイベントも充実させる。			
	2022年度達成結果	参加体験型の企画展を含めて年間５回程度開催するとともに、企画展に関連したワークショップ等のイベントも開催することができた。			
	2023年度達成基準	参加体験型の企画展を含めて年間５回程度開催するとともに、企画展に関連したイベントも充実させる。			
指標分析	新型コロナウイルス感染症が沈静化したことを受けて、入館者数が目標値を上回ることができた。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	30,163,545	30,027,851
	人員	7.8	5.68

担当所属	岡崎地域文化広場	連絡先	53-3511

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：一般型

業務活動名	展示備品整備（地域文化広場）		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化芸術の振興
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（全部直営）

事業概要

事業概要
有名美術家10代の作品など、おかざき世界子ども美術博物館の展示及び調査研究に用いる美術・博物の資料等の保存のための収集を行う。

対象
・市内外の子ども達はじめ芸術鑑賞等のため来館する市民等

手段
　購入、寄託、寄附の保存区分により、劣化或いは滅失等防止のための収集活動を図る。岡崎市美術品等収集委員会の開催を基に、保存活動を推進する。

意図・成果
　収集した資料を企画展及び常設展示等で一般公開することにより、子どもたちが芸術作品等に接する機会を提供することができる。また収蔵作品の調査研究を行い、情報の整理蓄積を行うことで、子どものみならず、市民や市外からの入館者にも新たな芸術鑑賞の機会を提供できるように活用していく。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	有名美術家１０代の作品収集点数 単位：点	目標値（予測値）	1	1	1
		実績値	8	1	
		達成度（%）	800	100	
	- 単位：-	目標値（予測値）	-	-	-
		実績値	-	-	
		達成度（%）	-	-	
定性指標	2021年度達成基準	当館の主要コレクションである有名美術家の10代の作品を収集する。			
	2021年度達成結果	有名美術家等10代の作品について、当館のコレクションに相応しいものとして日本画家及びインド美術研究家の畠中光享10代の作品8点を収集した。			
	2022年度達成基準	当館の主要コレクションである有名美術家の10代の作品を収集する。			
	2022年度達成結果	2021年度に寄付していただいた画家及びインド美術研究家の畠中光享10代の作品と比較する大人になってからの作品１点を収集した。			
	2023年度達成基準	当館の主要コレクションである有名美術家の10代の作品を収集する。			
指標分析	前年度は画家及びインド美術研究家の畠中光享10代の作品8点と比較する大人になってからの作品を収集することができた。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	0	153,020
	人員	0.25	0.1

担当所属	岡崎地域文化広場	連絡先	53-3511

令和５年度　業務活動評価表

評価区分：維持管理型

業務活動名	美術館管理運営		
分野別指針	誰もが学び活躍できる社会づくり		
個別計画等	文化振興推進計画	基礎事業名	文化を支える基盤づくり
根拠法令要綱	-		
事業期間	-　～　-	運営形態	自治事務（一部委託）

事業概要

事業概要
昭和４７年８月に愛知県美術館に次ぐ県下２番目の美術館として開館した岡崎市美術館は、地域の美術等芸術文化の拠点施設として現在に至っている。郷土作家の美術作品の収集展示、また美術活動に親しむ団体等の作品発表の場としてのギャラリー機能を担っている。隣接している旧図書館の建物についても、平成２１年６月からは美術館東館として管理運営している。美術館そしてギャラリーとしての両面の機能を果たすため、適切で効率的な施設の管理・運営に努めているが、建築後５０年が経過し、施設の老朽化が目立つため、計画的な保全及び適切な管理が必要となっている。

対象
文化芸術活動に参加意欲や関心を持つ市民及び一般の市民

手段
下記のとおり施設の適正な維持管理を基に美術館の運営管理を行っている。・空調設備保守点検（空調設備の運転前・運転中・運転終了後の各部点検及び調整を実施）・消防用設備保守点検（年１回機能点検を９月、総合点検を３月に実施）・清掃委託（日常清掃・定期清掃・特別清掃を実施）・昇降機保守点検（年に６回、奇数月に実施）及び来館者用エレベーター保守点検・警備委託（火災・盗難及び特定異常状態の感知・通報・連絡措置）・建物修繕、工作物修繕　等を実施・常設展示の展示替えと作品管理・収蔵庫の作品管理

意図・成果
施設の適正な維持管理により、美術館そしてギャラリーとしての運営管理を行い、施設利用者に対して利便性の向上を図るとともに、広範な芸術文化を享受できる機会と様々な文化活動に多くの市民が参加できる機会を提供している。また、建物に付随する機器等の適正な維持管理整備を図ることにより、美術館の収蔵庫機能、展示施設機能を長期にわたって維持している。

指標

	指標名	年度	2021年度	2022年度	2023年度
定量指標	美術館入館者数 単位：人	目標値（予測値）	40,000	50,000	60,000
		実績値	68,110	77,018	
		達成度（%）	170	154	
	展示室稼働率 単位：%	目標値（予測値）	50	50	50
		実績値	62	68	
		達成度（%）	123	135	
定性指標	2021年度達成基準	-			
	2021年度達成結果				
	2022年度達成基準				
	2022年度達成結果				
	2023年度達成基準				
指標分析	入館者数及び展示室稼働率共に目標値を達成し、前年度を上回る結果となった。				

コスト		2021年度決算	2022年度決算
	事業費等(円)	28,495,040	51,161,083
	人員	6.05	5.14

担当所属	美術館	連絡先	51-4280